

2022年度 新入生調査

2022年4月27日 IR室

田口 細野



学校法人 昌賢学園

群馬医療福祉大学 | 短期大学部

Gunma University of Health and Welfare
/ Tow-year college Course

調査実施期間：2022年4月4日～4月8日

対象：2021年 入学生 342名

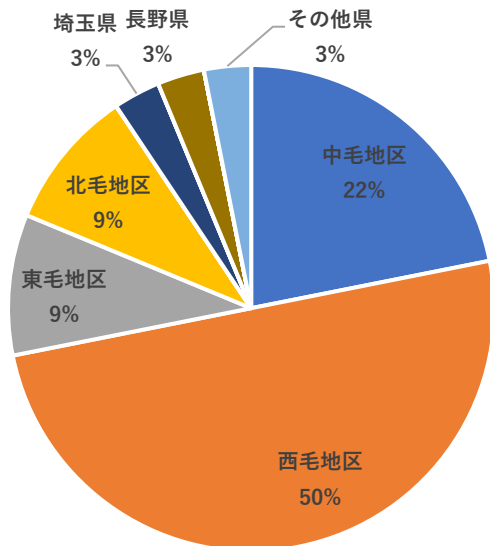
回答率：96.7% (331名)

目的

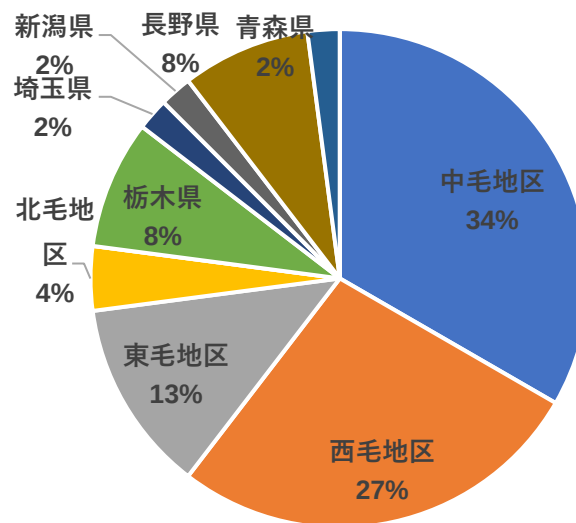
本学入学生を対象に、入学時の状況を確認することで、学生の不安を解消し退学防止に努める。また、その後の成長の推移などを調べ、大学の運営及び教育活動などの改善を図ることを目的に実施。調査は2022年度に入学した全学生に対して実施したアンケートデータを分析した結果である。

グラフは学部・専攻ごとにまとめており、2021年度調査と比較している。

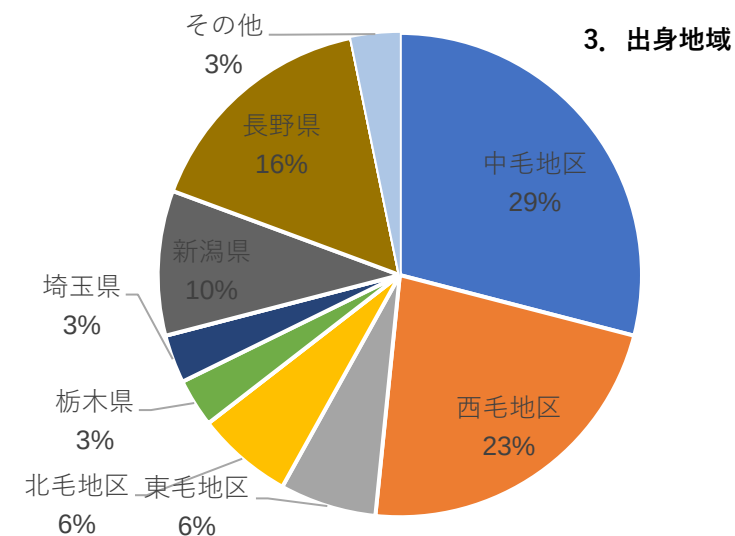
医療福祉学科



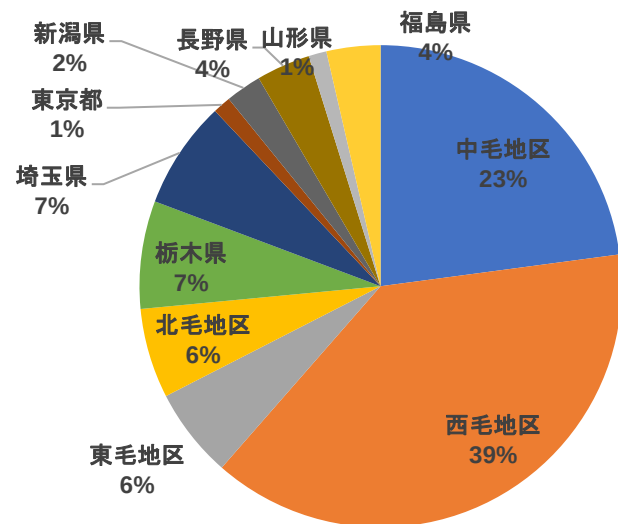
社会福祉専攻



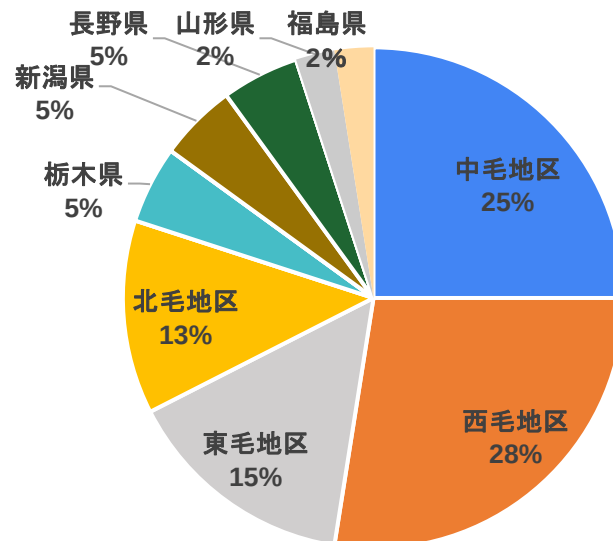
子ども専攻



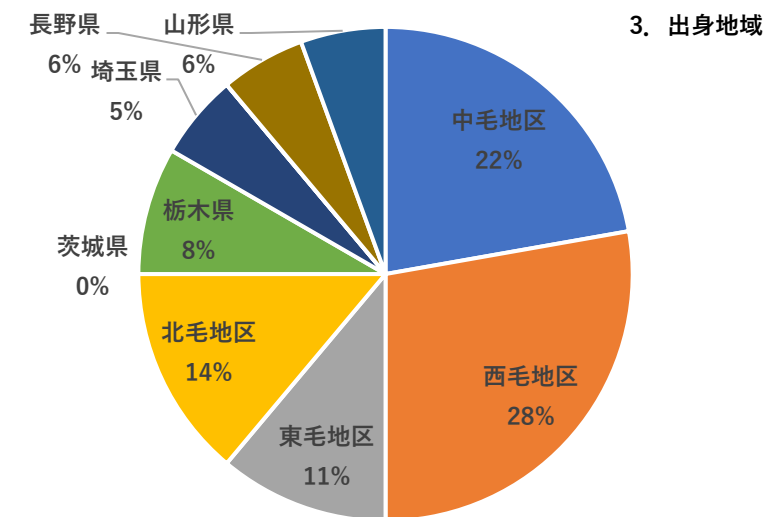
看護学部



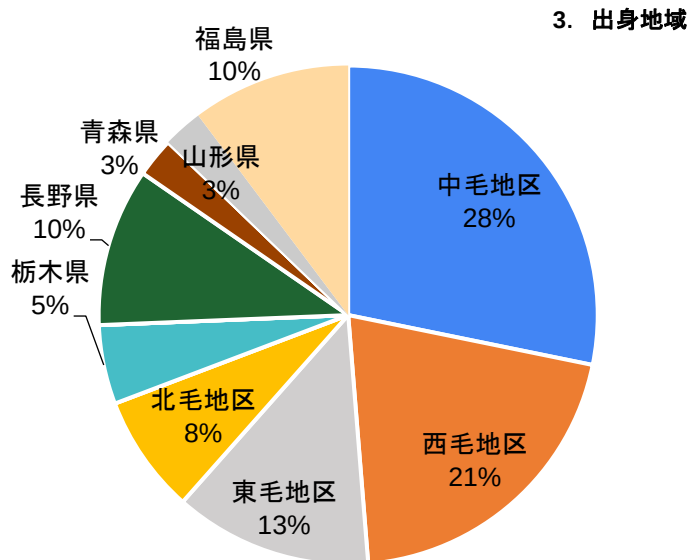
理学療法専攻



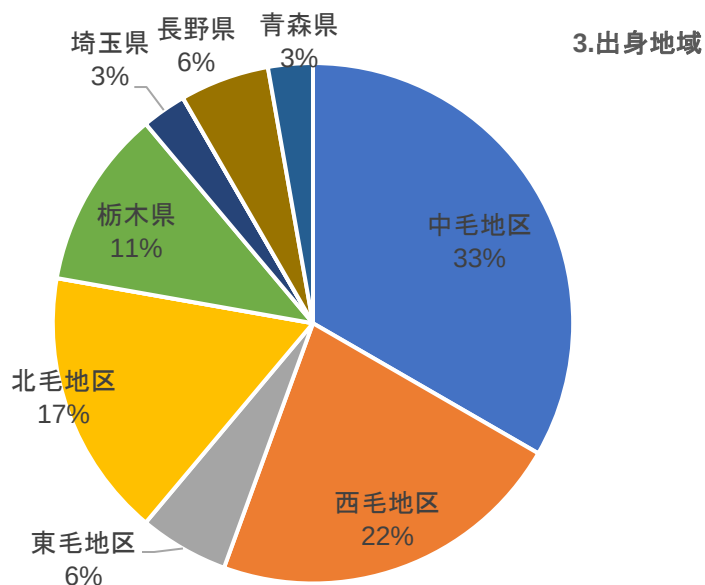
作業療法専攻



臨床検査学専攻



臨床工学専攻



	埼玉県	新潟県	長野県	栃木県	茨城県	東北	その他	県外割合
医療福祉	3%	0%	3%	0%	0%	0%	3%	9%
社会福祉	2%	2%	8%	8%	0%	4%	0%	24%
子ども	3%	10%	16%	3%	0%	0%	3%	35%
看護	7%	2%	4%	7%	0%	5%	1%	26%
理学	0%	5%	5%	5%	0%	4%	0%	19%
作業	5%	0%	6%	8%	0%	6%	0%	25%
臨床検査	0%	0%	10%	5%	0%	16%	0%	31%
臨床工学	3%	0%	6%	11%	0%	3%	0%	23%
県別割合	3%	2%	7%	6%	0%	5%	1%	24%

※詳細なデータは入試広報センターの集計による志願者状況にて確認

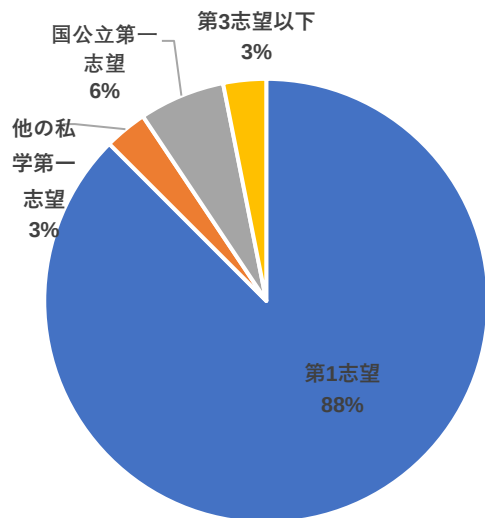
●すべての学部、専攻において前橋・高崎・伊勢崎の3地区からの入学者が6割程度となっている。

●入学者の県外出身別割合では長野県、栃木県の順で高くなっており、昨年度からは新潟県が減少した。東北6県からは山形県、福島県からの入学者が増加となった。特に目を引くのは子ども専攻が長野県16%、臨床検査学専攻が東北から16%の入学者を占めている。

●各学部、専攻でバラつきはあるが、県内に競合校が複数あることを考えると県外生の受入れを3割~3割5分のバランスで募集したい。2022年度の新入生においては県外生が24%となっているが、今後30%程度まで引き上げることが出来れば学生募集も順調に進むことが期待される。

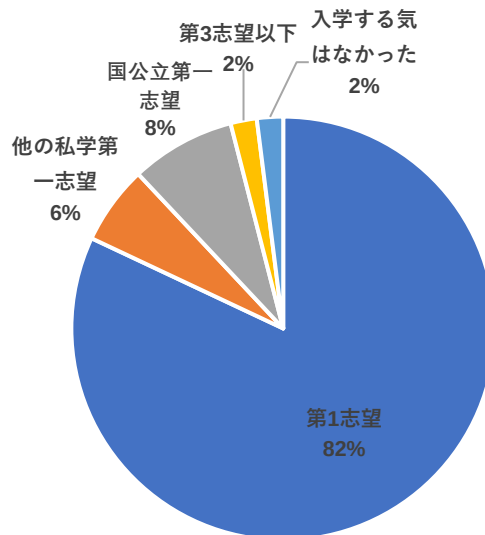
医療福祉学科

5.志望順位



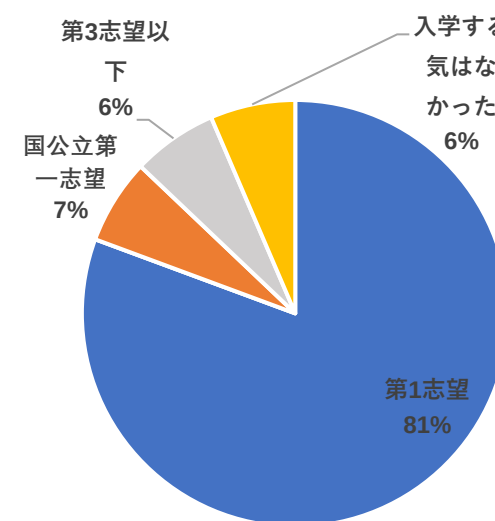
社会福祉専攻

5. 志望順位



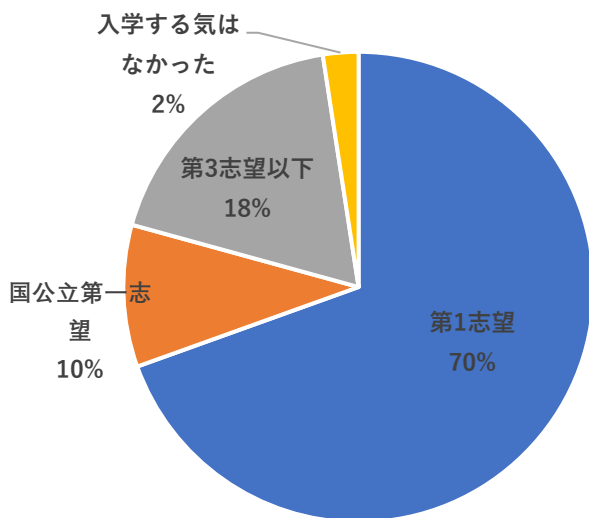
子ども専攻

5.志望順位



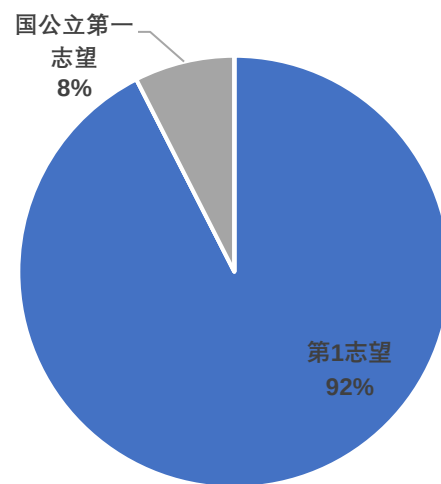
看護学部

5. 志望順位



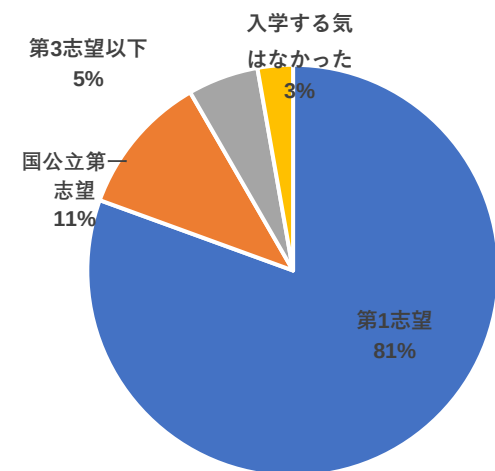
理学療法専攻

5. 志望順位

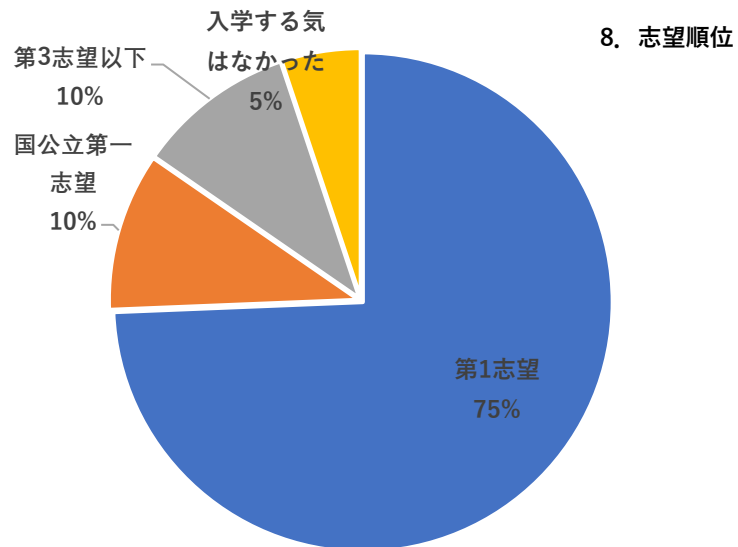


作業療法専攻

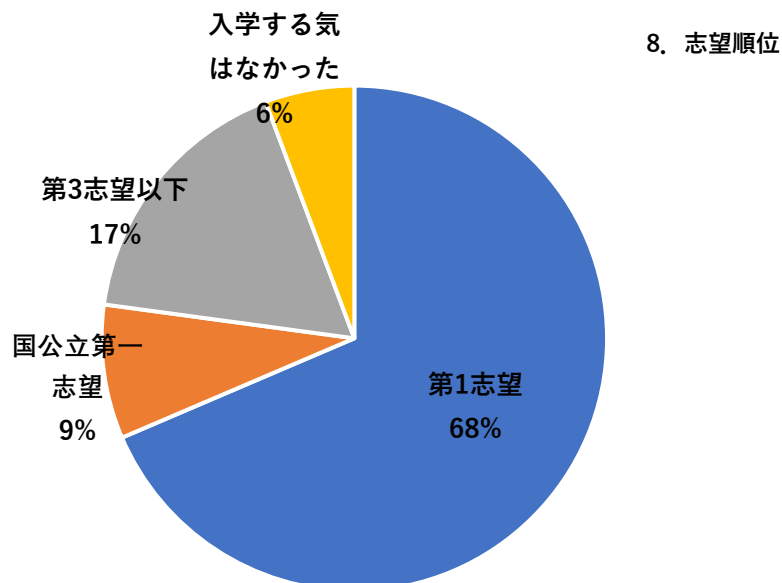
5. 志望順位



臨床検査学専攻



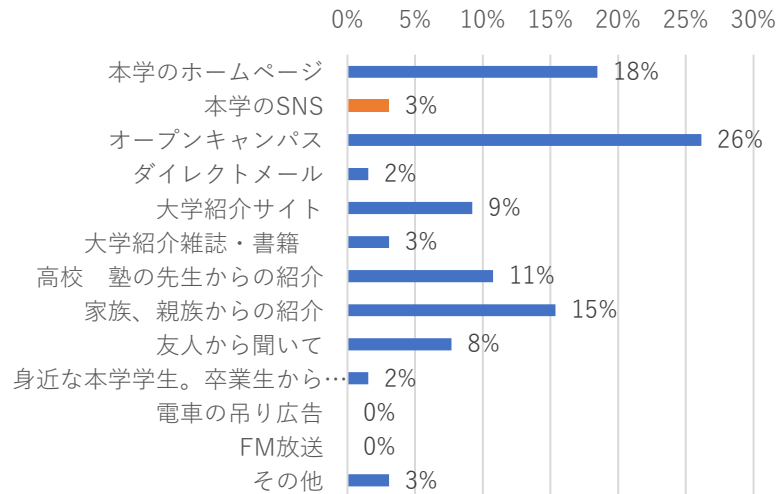
臨床工学専攻



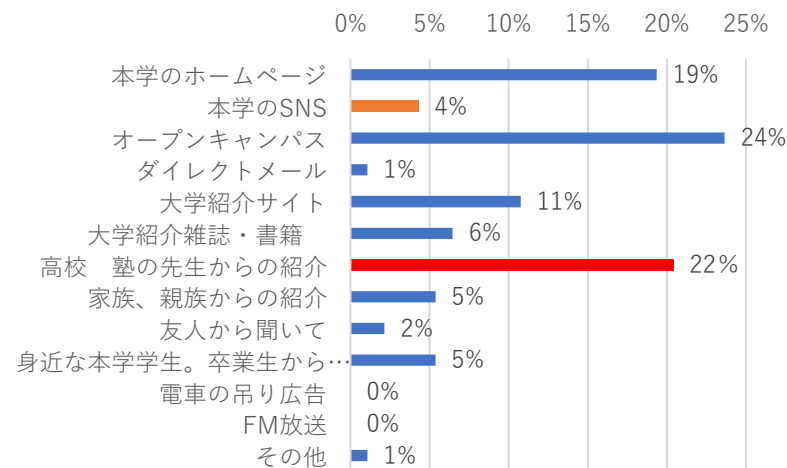
●すべての学部・専攻で約70%の新入生が本学を**第1志望として入学している**。本学を第1志望としなかった入学者（不本意入学者）が各学部とも20%~30%となっている。**特にもともと入学する気はなかったと回答した学生が理学療法専攻を除いて各学部、専攻に1~2名程度存在**している。**学生個人へのフォローと国家試験へ向けてのモチベーションを高める工夫が肝要**と考える。

●入学した学生の**授業や学生生活の満足度を高め、本学へ入学して良かったと思える取組を1年時の早い段階で実施していく必要がある**。

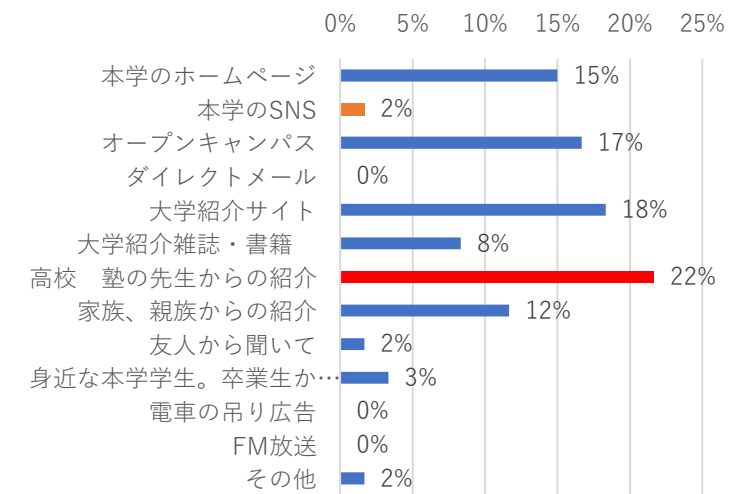
医療福祉学科



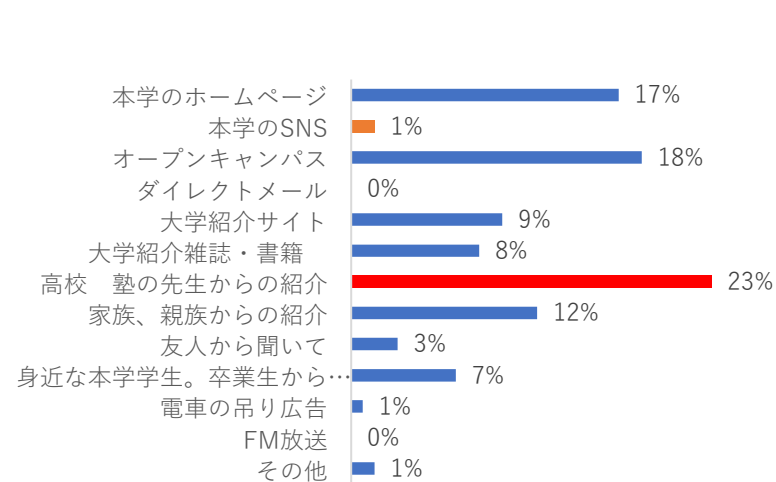
社会福祉専攻



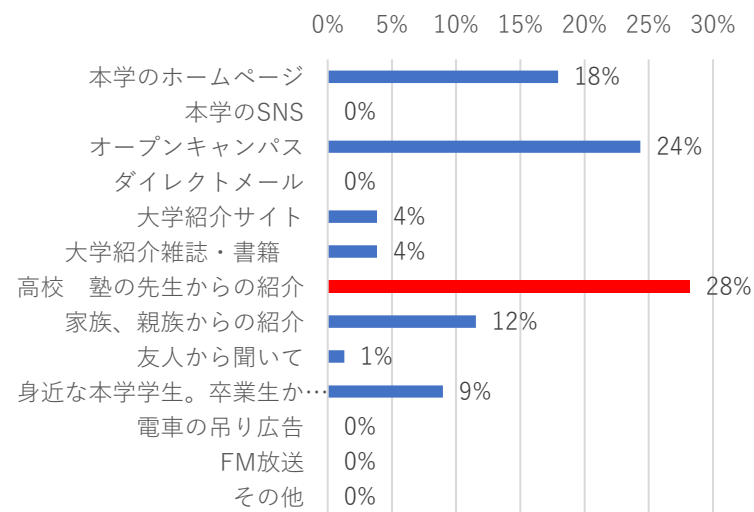
子ども専攻



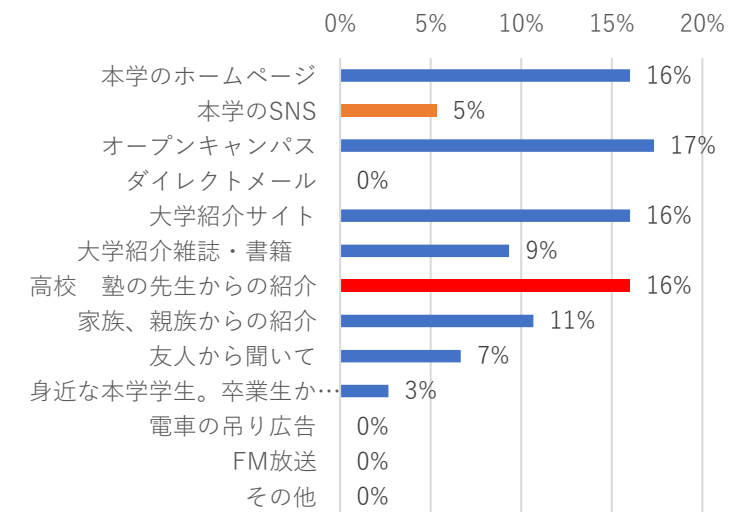
看護学部



理学療法専攻

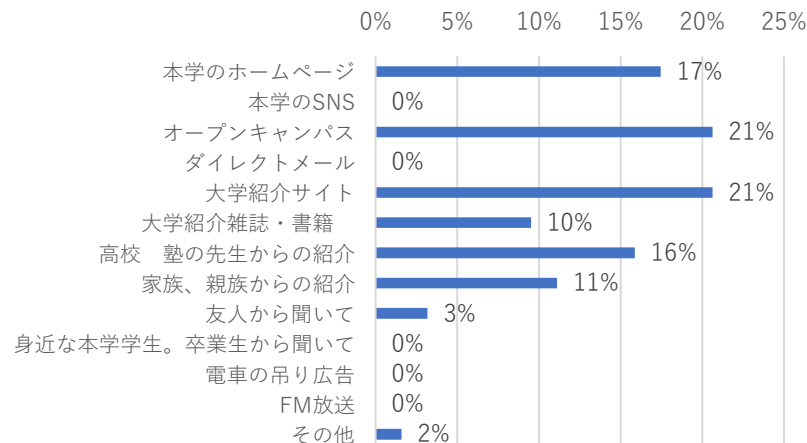


作業療法専攻



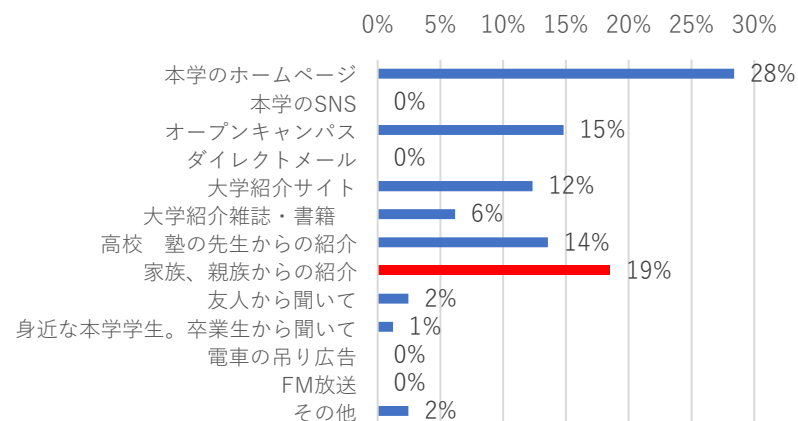
臨床検査学専攻

5.本学を知ったきっかけ



臨床工学専攻

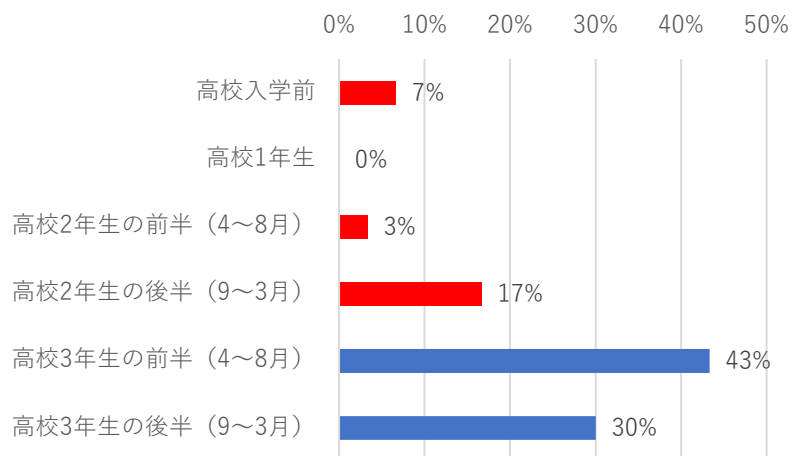
5.本学を知ったきっかけ



●本学を知ったきっかけとして、本学のホームページ、またオープンキャンパスの割合が高くなっていることは推察される。今回の調査で高校の先生からの紹介が本学を知るきっかけとして上位に占めていることが分かった。高校訪問において的確な情報をこまめに届けていくことが重要であるとの認識ができた。
しかしながら、SNSを介して本学を知ったとの回答がごく僅かであり、今後はSNSの拡散を上手に使った広報手法を検討していく必要性がある。

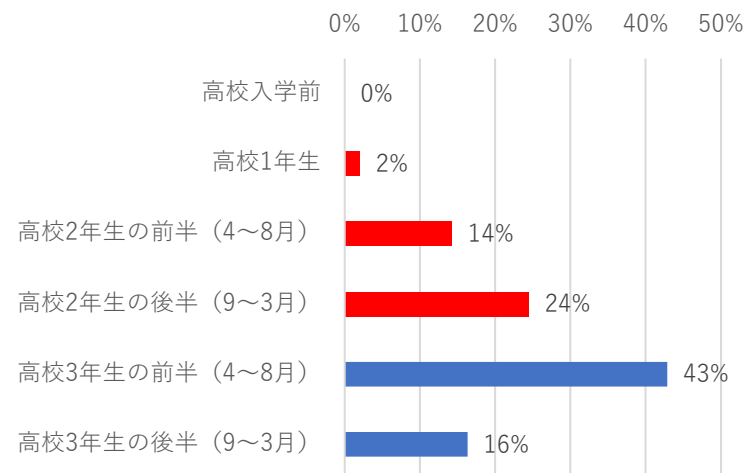
医療福祉学科

6.本学を志望した時期



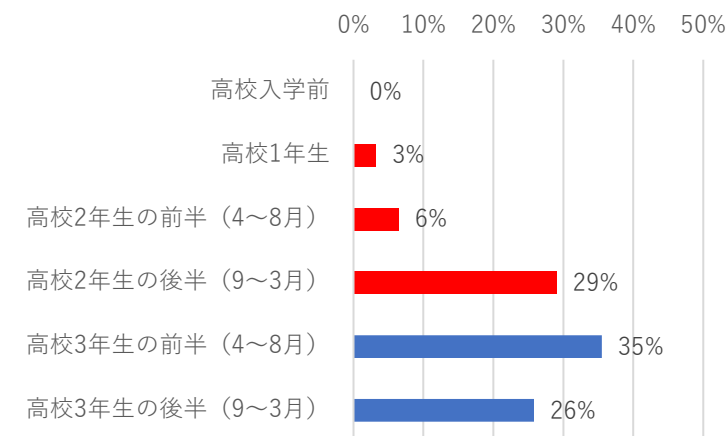
社会福祉専攻

6.本学を志望した時期



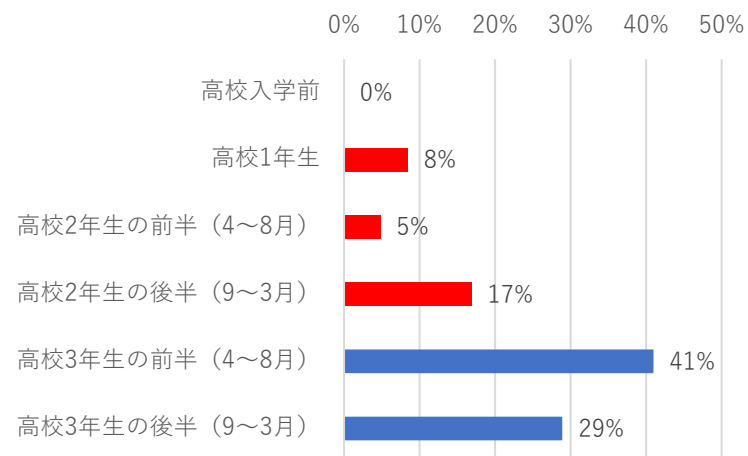
子ども専攻

6.本学を志望した時期



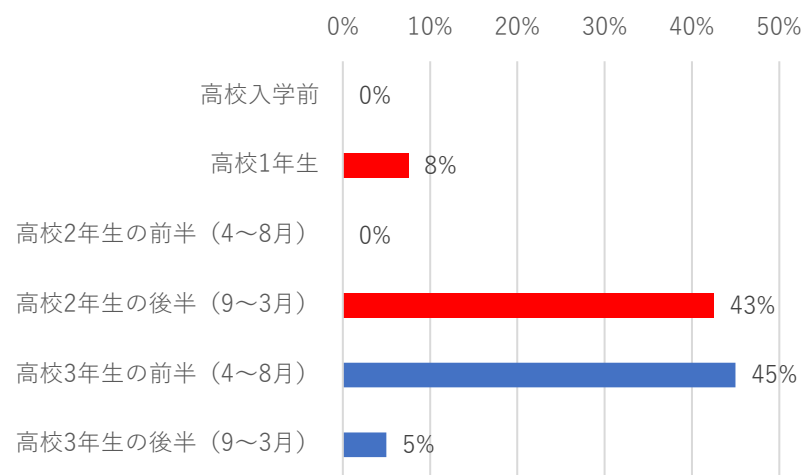
看護学部

6. 本学を志望した時期



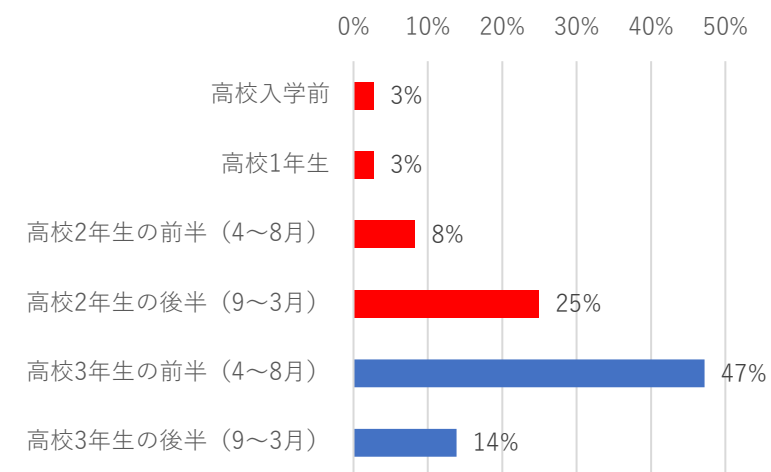
理学療法専攻

6.本学を志望した時期



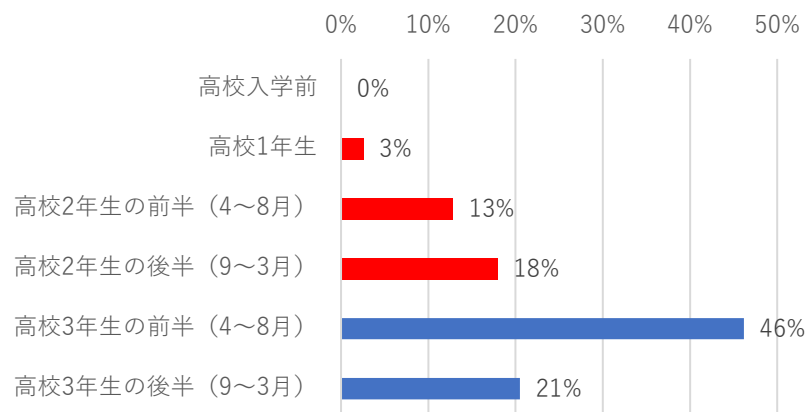
作業療法専攻

6.本学を志望した時期



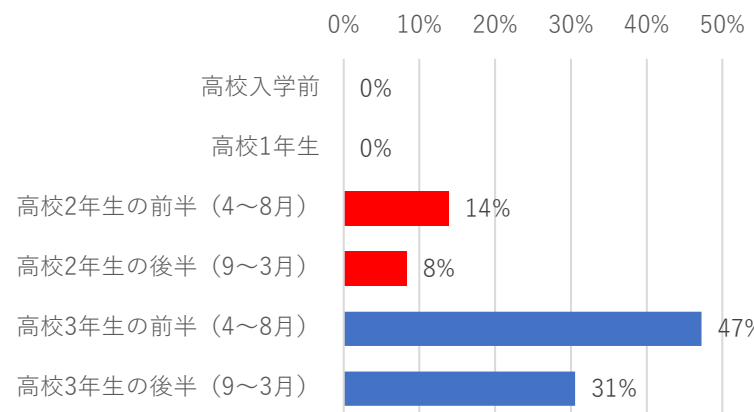
臨床検査学専攻

6.本学を志望した時期



臨床工学専攻

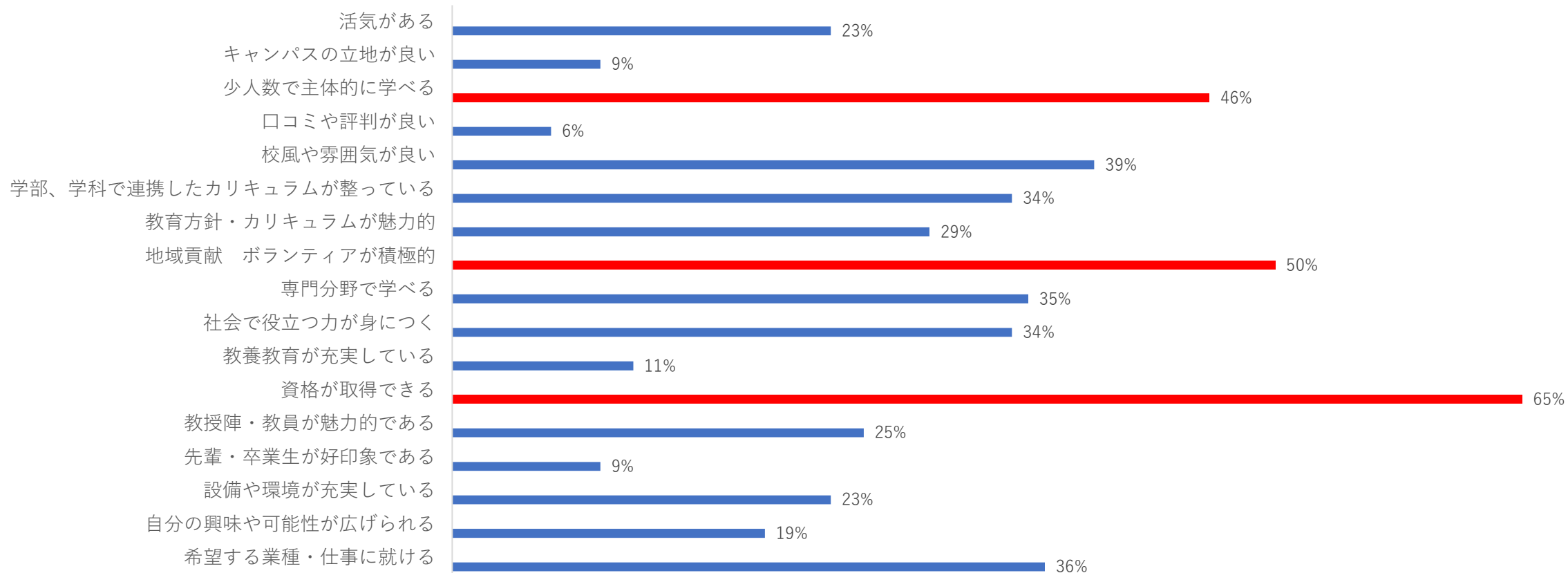
6.本学を志望した時期



●本学を志望した時期は高校3年生の前半までとそれ以降を比較すると全体的に7：3の割合となっており、**本学の受験傾向として高校3年生の夏休みまでに志望を固めている受験生が多い**ことがわかる。

さらに高校2年生の3月までに志望を決めている割合として社会福祉専攻40%、子ども専攻38%、理学療法専攻51%、作業療法専攻39%と4割近くであり、医療福祉学科27%、看護学部30%、臨床検査学専攻34%、臨床工学専攻22%となっている。

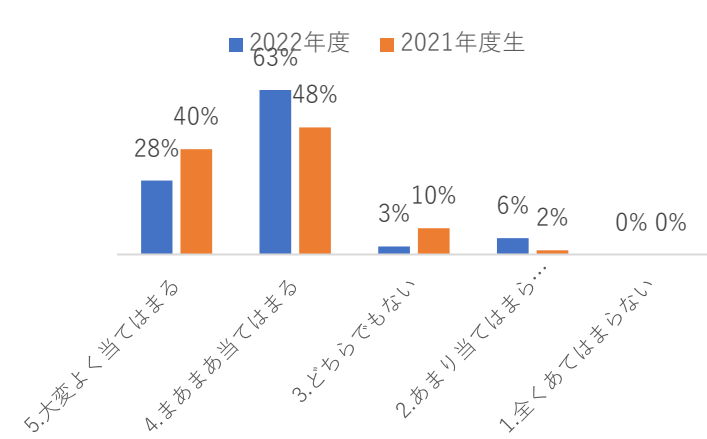
高校2年生の9月以降に志望する割合が大きく増える傾向があることから**早めの広報活動を積極的に展開することで、早期に受験生を確保**することが可能となる。



●本学のイメージについて、**1.資格が取得できる。2.地域貢献 ボランティアが魅力的 3.少人数で主体的に学べる** が上位3つを占めており40%を超えている。まさにこの部分が**本学の強み**となる部分であるといえよう。反対に**口コミや評判が良い、先輩・卒業生が好印象であると回答した新入生は10%未満**であった。就職先の福祉施設や病院では卒業生の評判は良いが、受験生までこの情報が行き届いていないことが課題である。

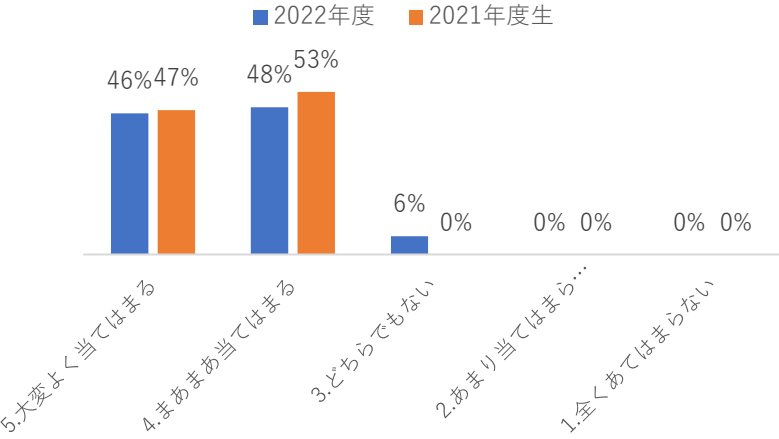
医療福祉学科

10-1 授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



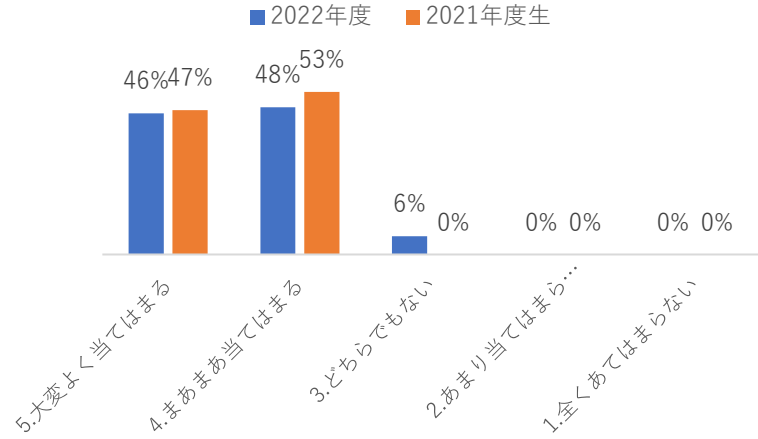
社会福祉専攻

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



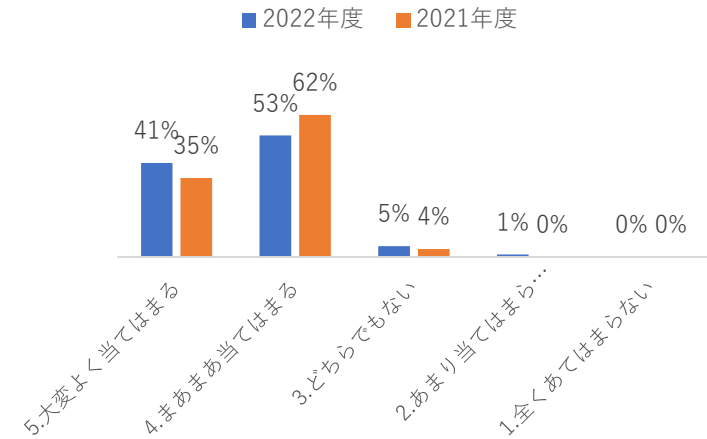
子ども専攻

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



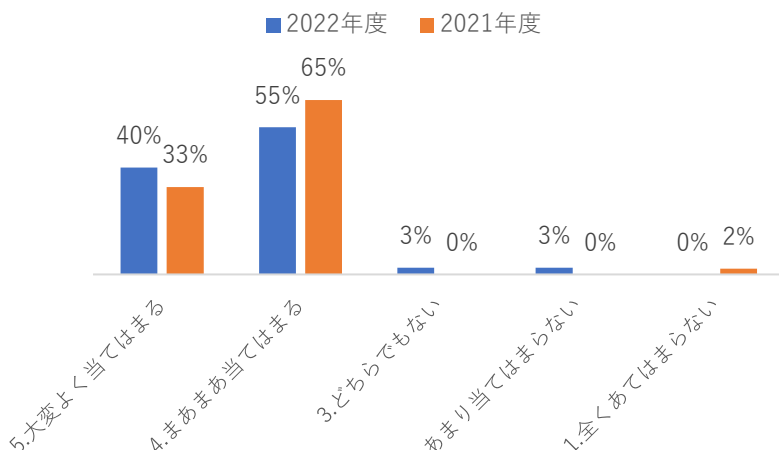
看護学部

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



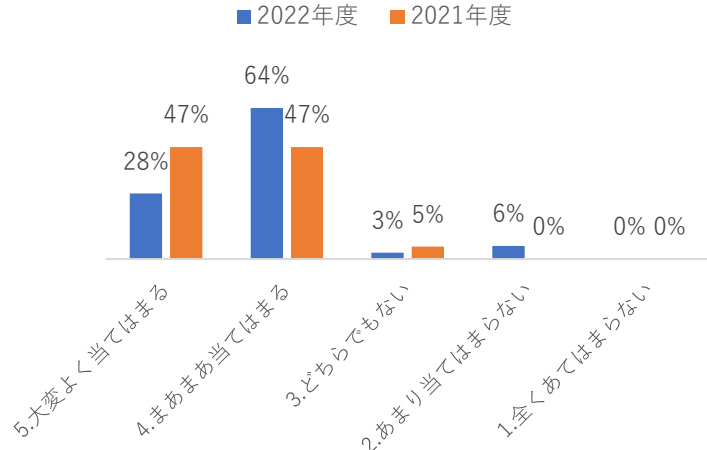
理学療法専攻

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



作業療法専攻

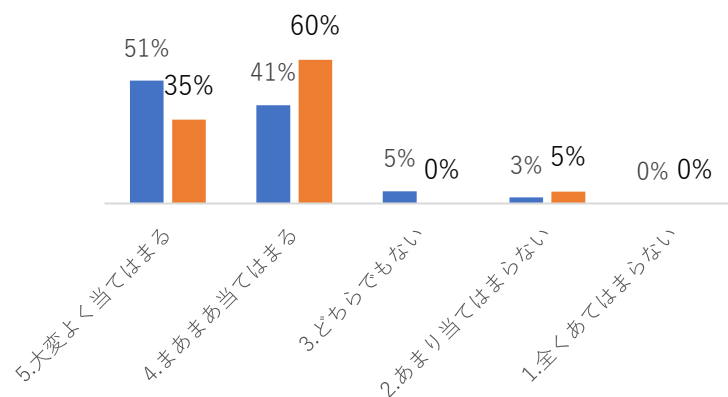
10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。



臨床検査学専攻

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。

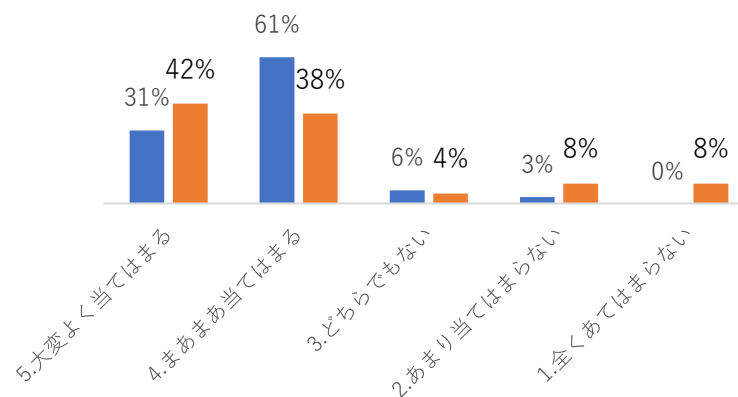
■ 2022年度 ■ 2021年度生



臨床工学専攻

10-1授業は基本的にまじめな態度で受けることができていた。

■ 2022年度 ■ 2021年度

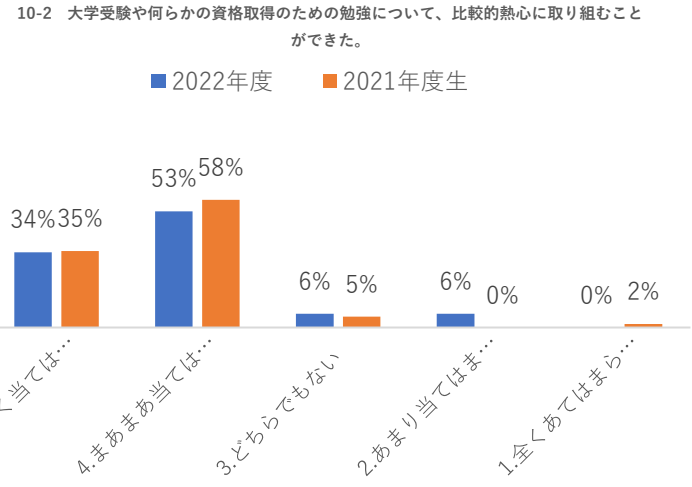


●「授業は基本的にまじめな態度で受けることができた」の質問に対し、多くの学生が「まじめに受けることができていた」と回答しており、本学の校風に合ったあったまじめな学生を受け入れることが出来ている。

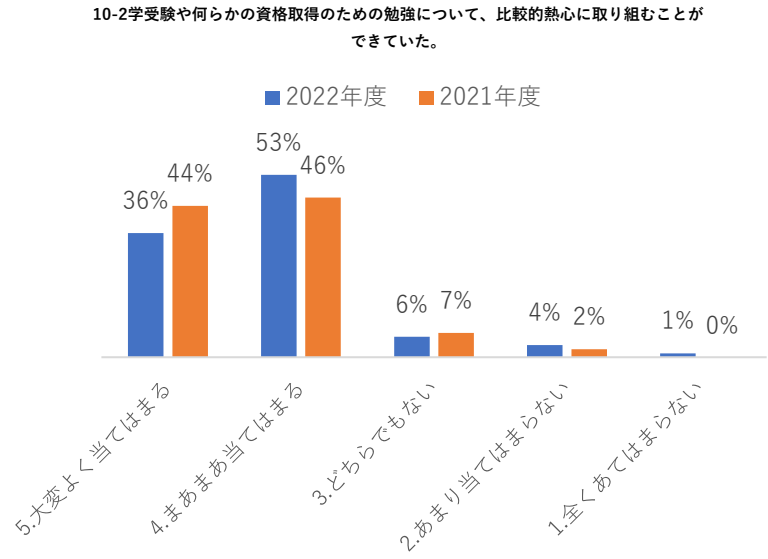
●各学部において若干名ではあるが「あまり当てはまらない」と数名が回答しており、このような学生を早めに見つけ出し、大学での基本的学修態度の修得が急務と言える。2022年度は「全く当てはまらない」と回答した学生は0%であり存在しなかった。



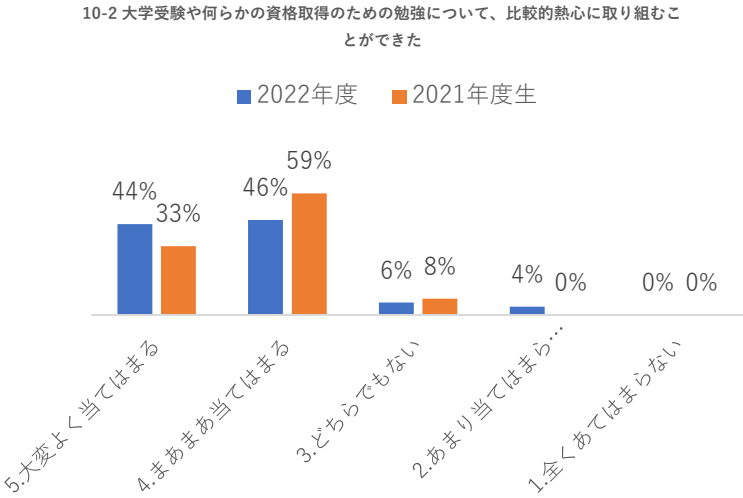
医療福祉学科



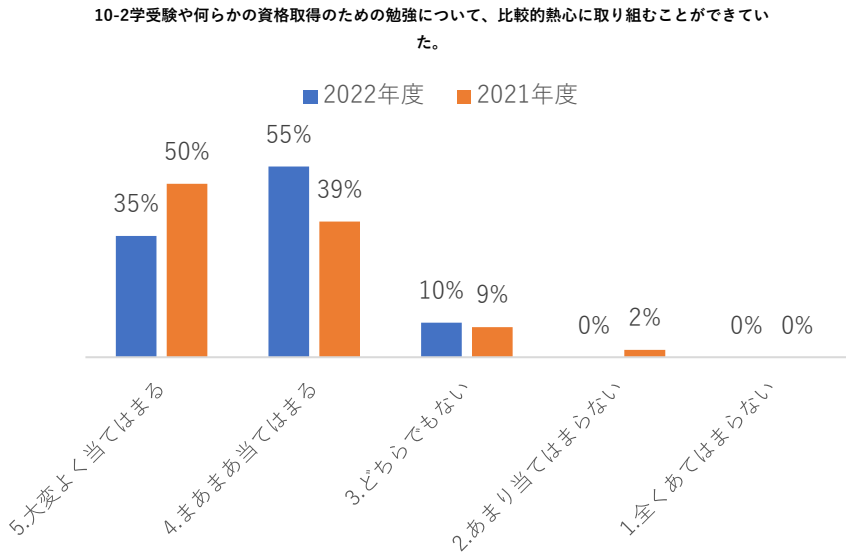
看護学部



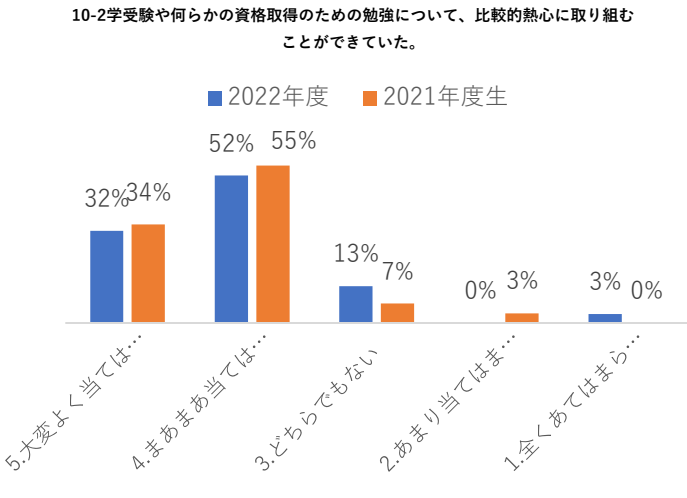
社会福祉専攻



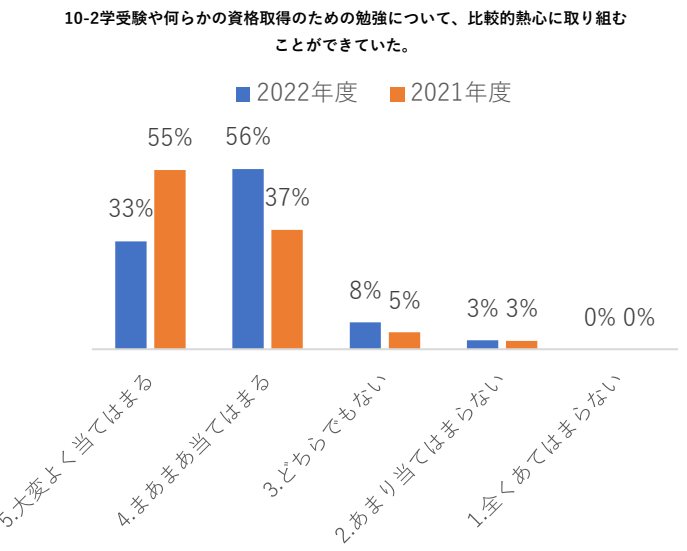
理学療法専攻



子ども専攻



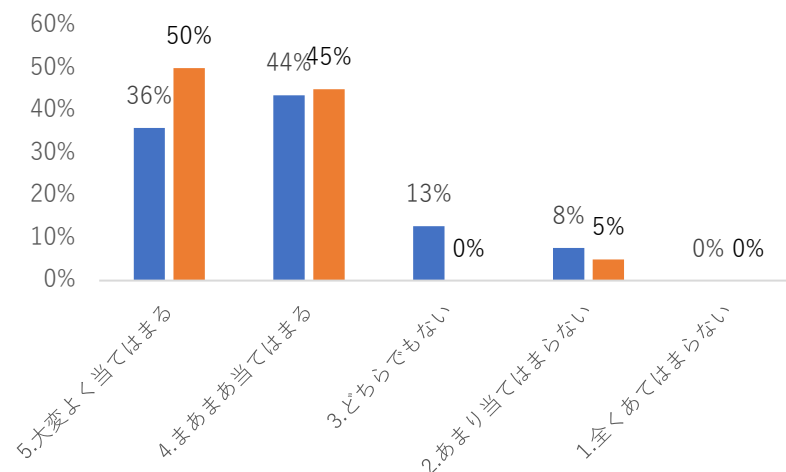
作業療法専攻



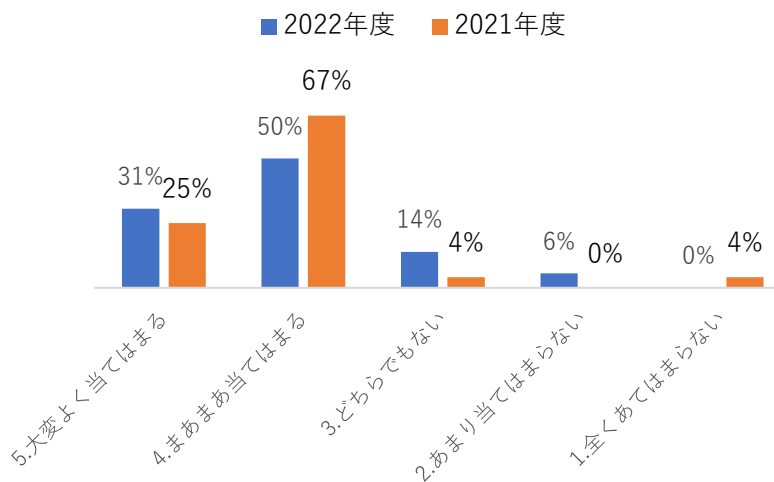
臨床検査学専攻

臨床工学専攻

10-2学受験や何らかの資格取得のための勉強について、比較的熱心に取り組むことができていた。



10-2学受験や何らかの資格取得のための勉強について、比較的熱心に取り組むことができていた。

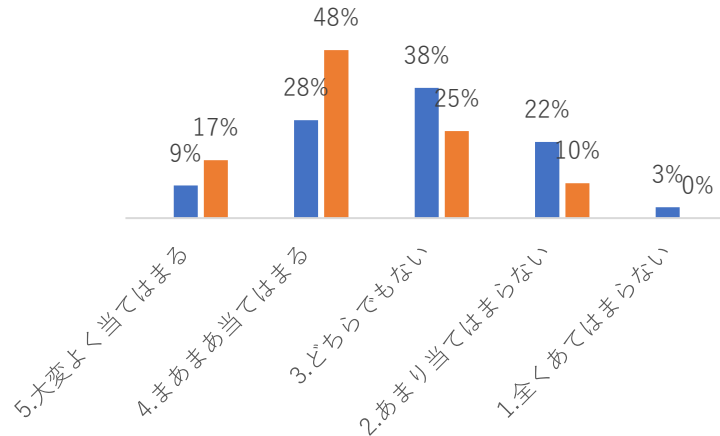


●全体的に「大変よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」と回答した学生が90%近くに上り、受験勉強や高校時に資格取得に向けた取り組みを頑張っていた様子が伺える。

●医療技術学部においては「どちらでもない」「あまり当てはまらない」と回答した学生が20%存在し、他学部より少し高い傾向にある。
今後の学生生活で、どのようにして主体性を育てていくかが重要である。

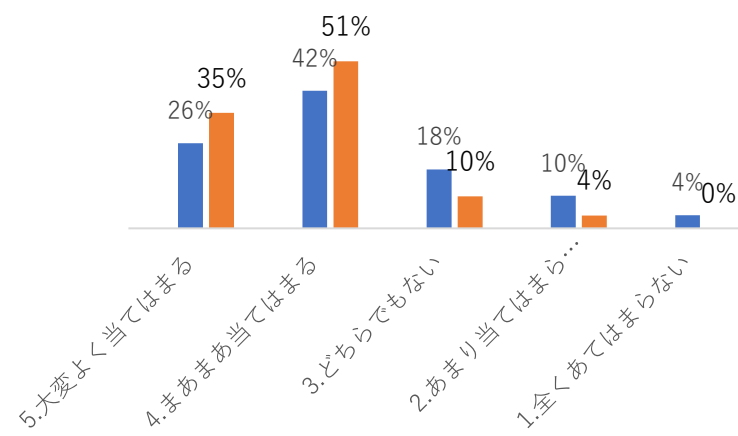
医療福祉学科

■ 2022年度 ■ 2021年度



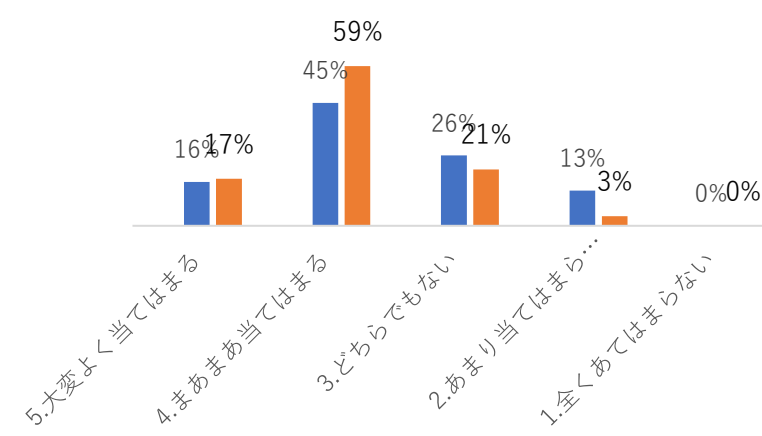
社会福祉専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



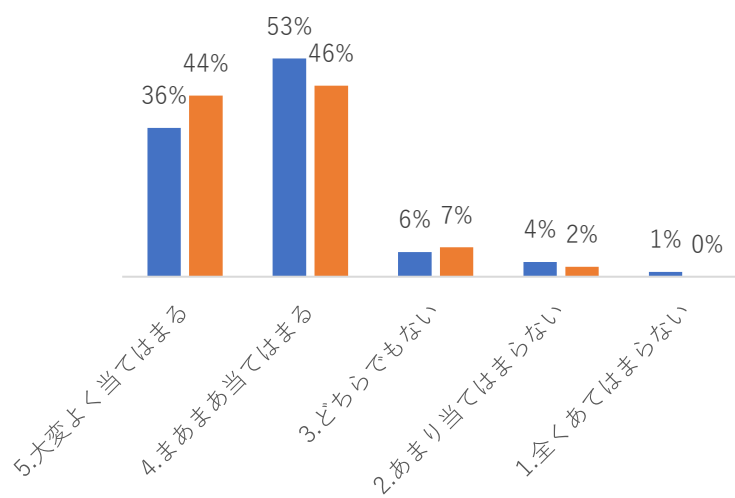
子ども専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



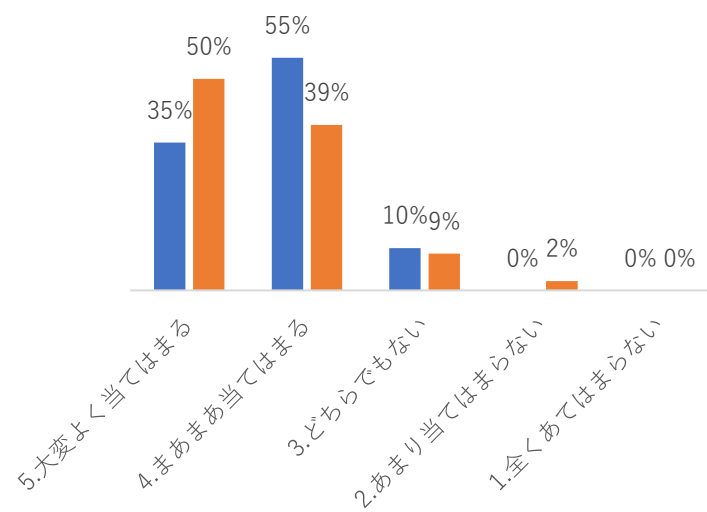
看護学部

■ 2022年度 ■ 2021年度



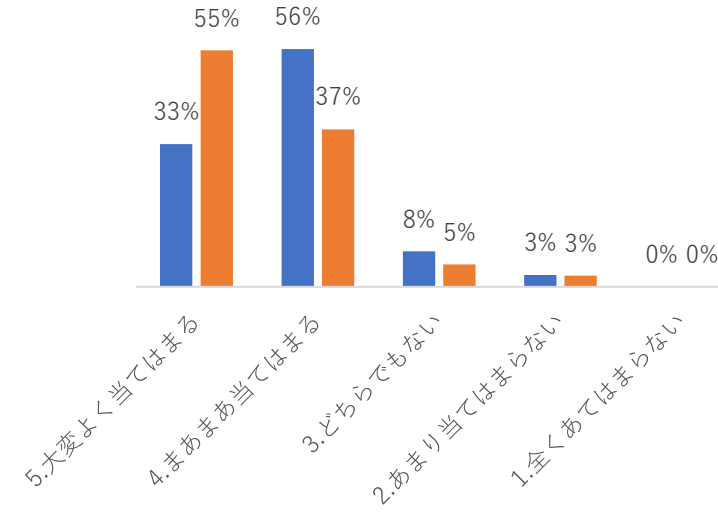
理学療法専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



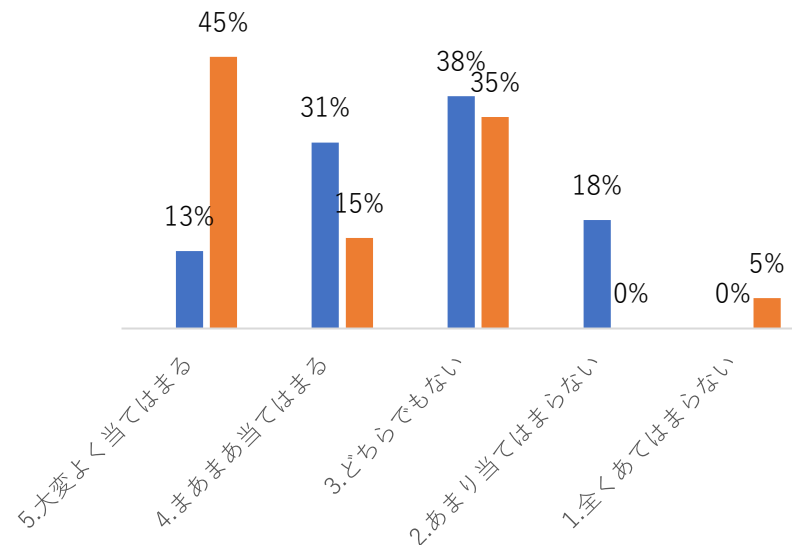
作業療法専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



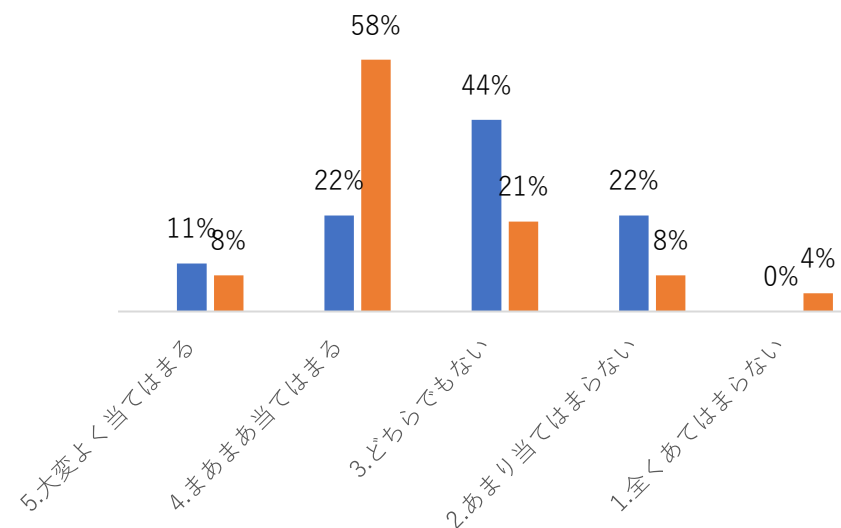
臨床検査学専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



臨床工学専攻

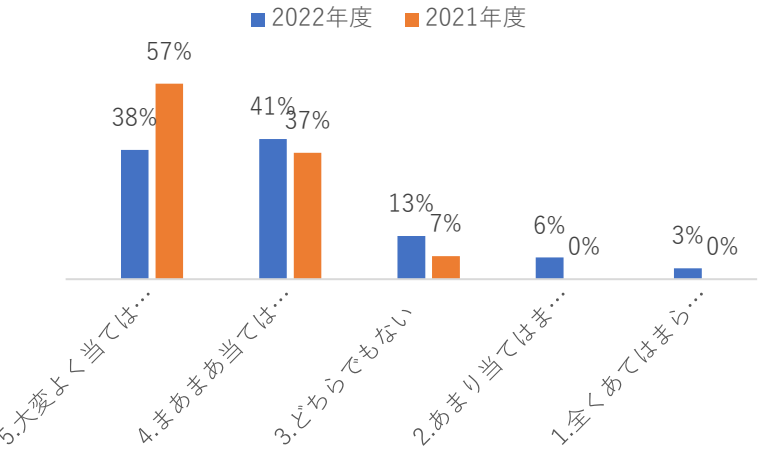
■ 2022年度 ■ 2021年度



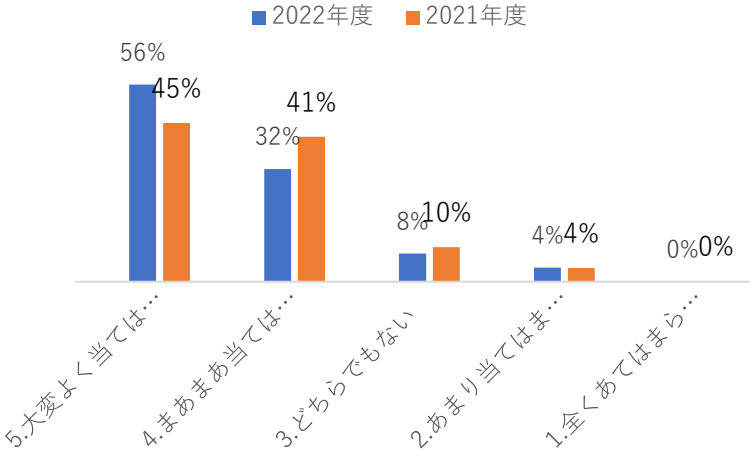
●「授業や受験とは関係のない学習面で、「読書」や「学習活動」など、力を入れて取り組んだものがあった」に対し全体的に**昨年度より減少傾向**にある。ただし、医療福祉学科、医療技術学部を除いては「**大変よくあてはまる**」、「**よくあてはまる**」と回答した**60%以上**を超えており、**教養的な学習に取り組んでいたことがわかる。**

●一方医療福祉学科、臨床検査学専攻、臨床工学専攻では「どちらでもない」、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答した学生が55%を超えている。**学士力養成の観点から専門分野に限らず多角的視野をもって幅広く知識や教養を身につけさせるリベラルアーツ教育の充実**について検討する必要がある。

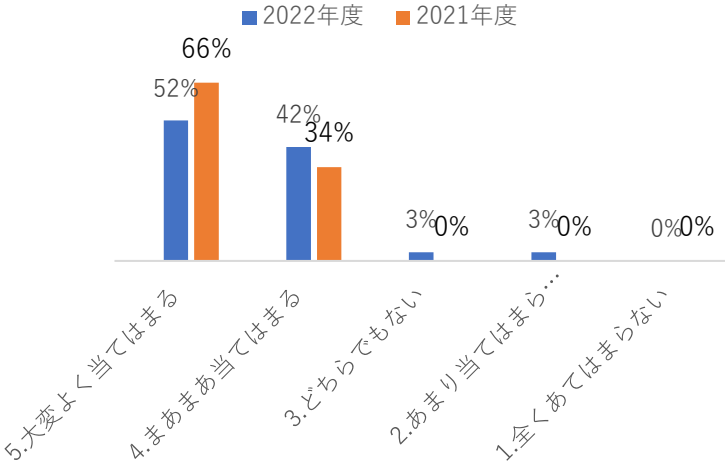
医療福祉学科



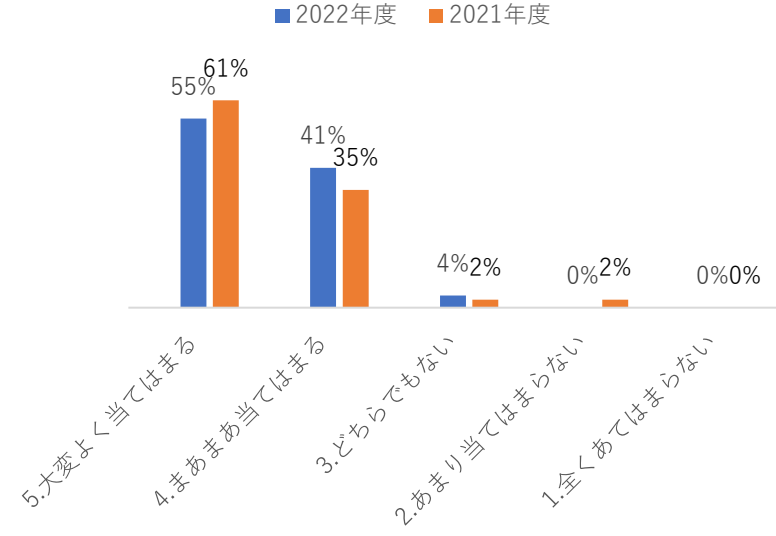
社会福祉専攻



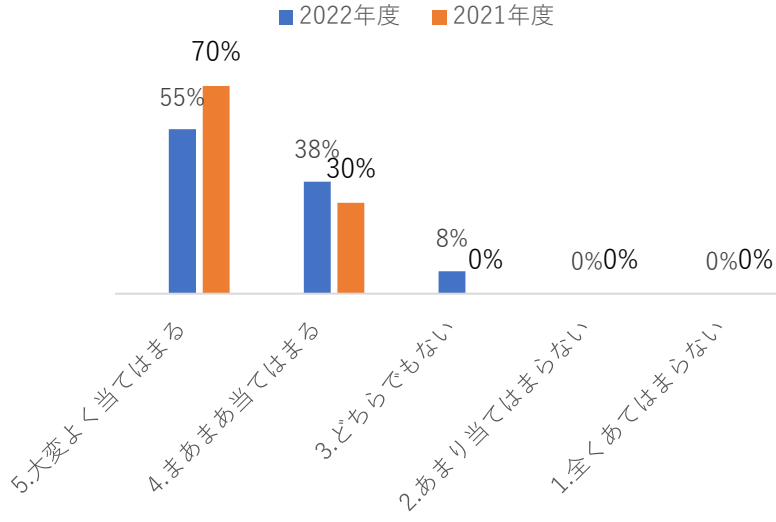
子ども専攻



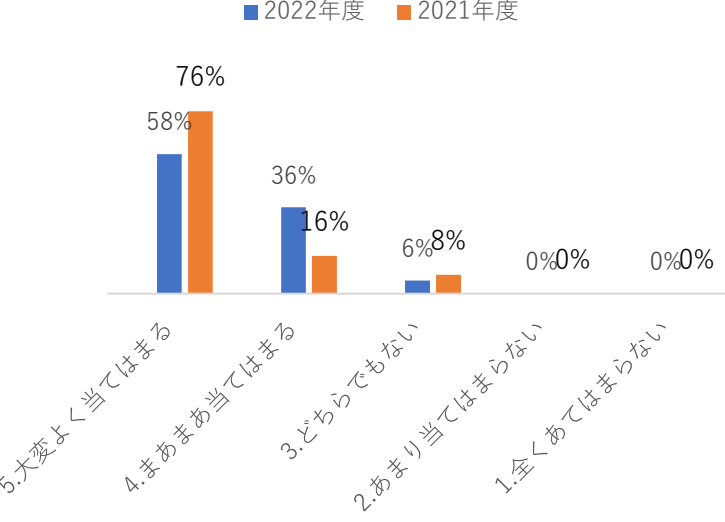
看護学部



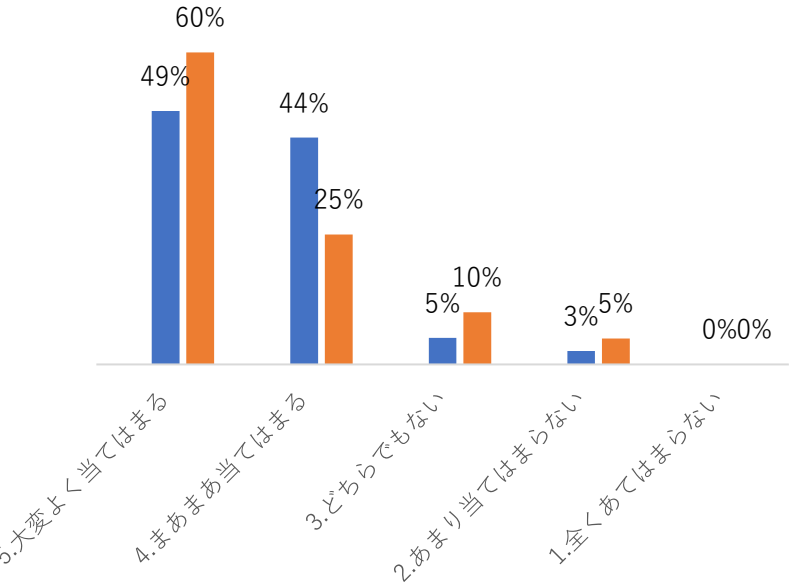
理学療法専攻



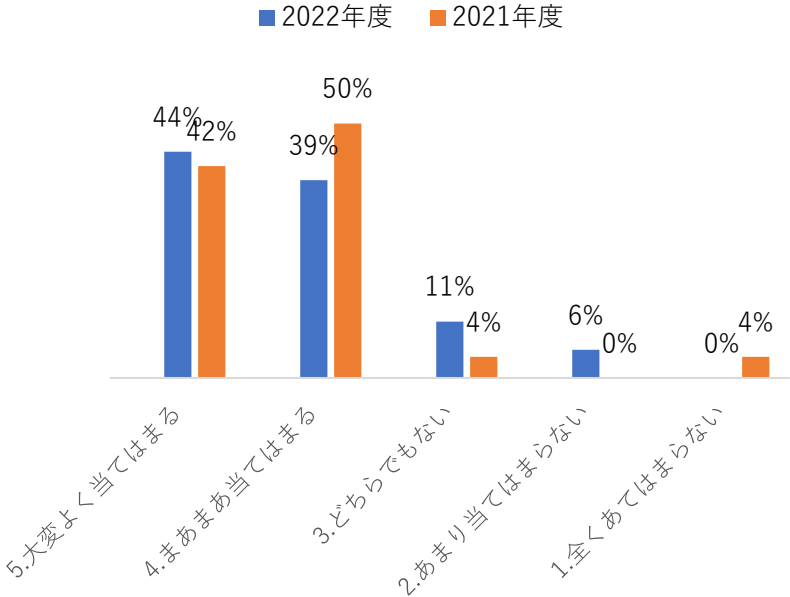
作業療法専攻



臨床検査学専攻



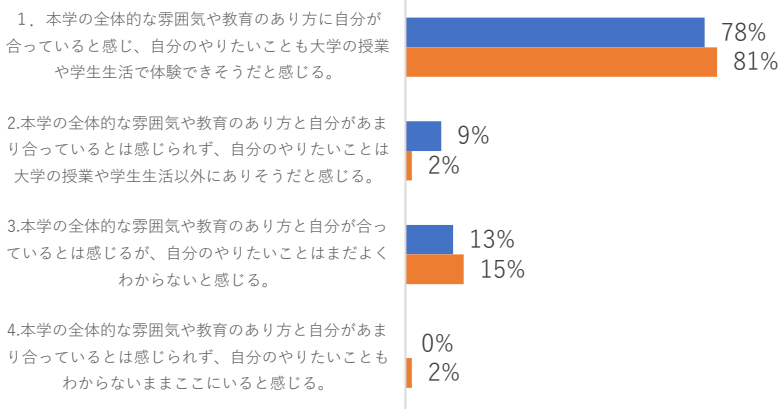
臨床工学専攻



●高校生活全般を通して、大きく成長できたと感じている学生がどの学部・専攻でも80%以上を越えており、全体的に向上心が高く前向きな学生が多く入学してきている。この高い意欲、向上心を今後とも維持できるように務める必要がある。

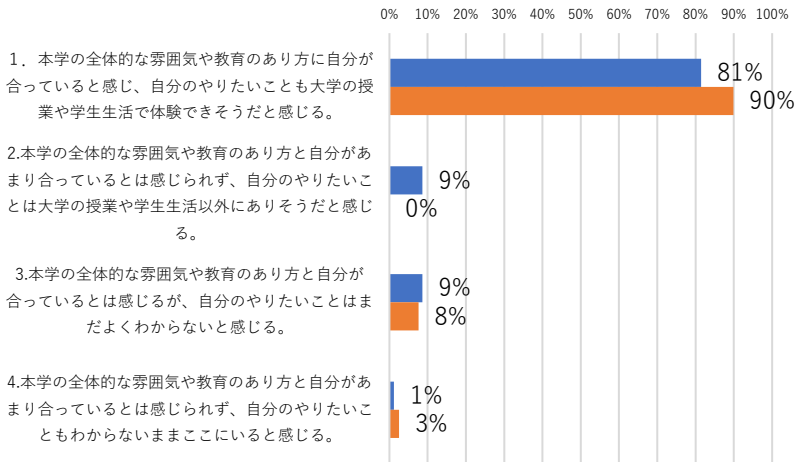
医療福祉学科

■ 2022年度 ■ 2021年度



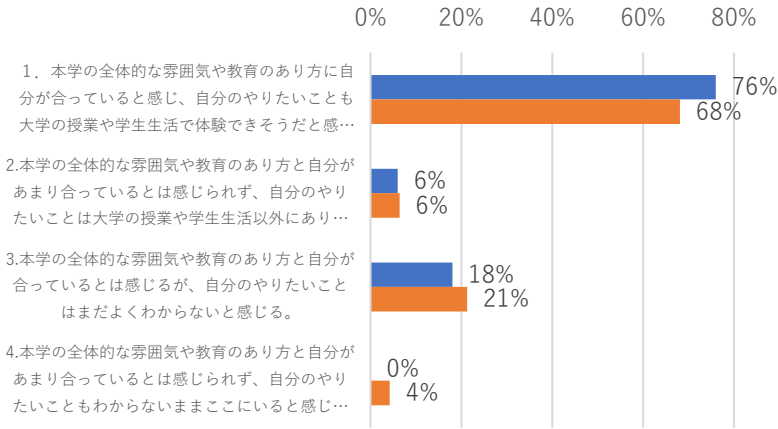
看護学部

■ 2022年度 ■ 2021年度



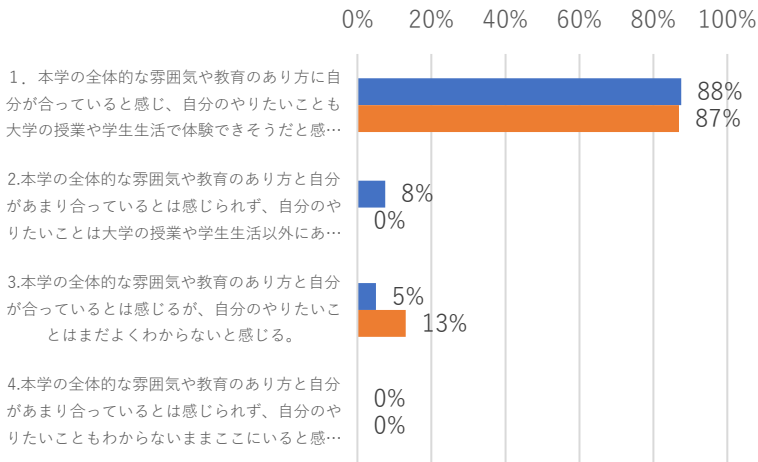
社会福祉専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



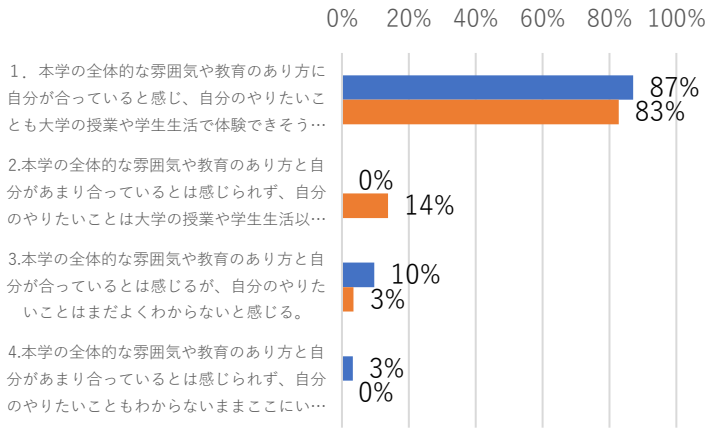
理学療法専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



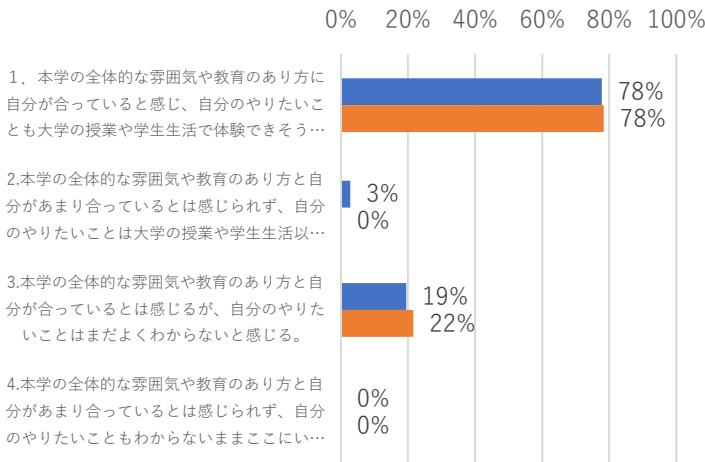
子ども専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度

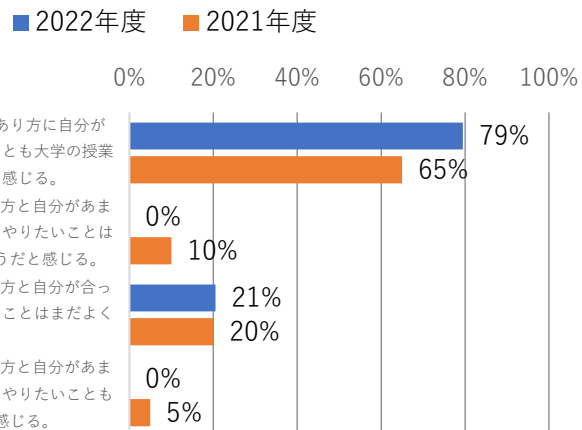


作業療法専攻

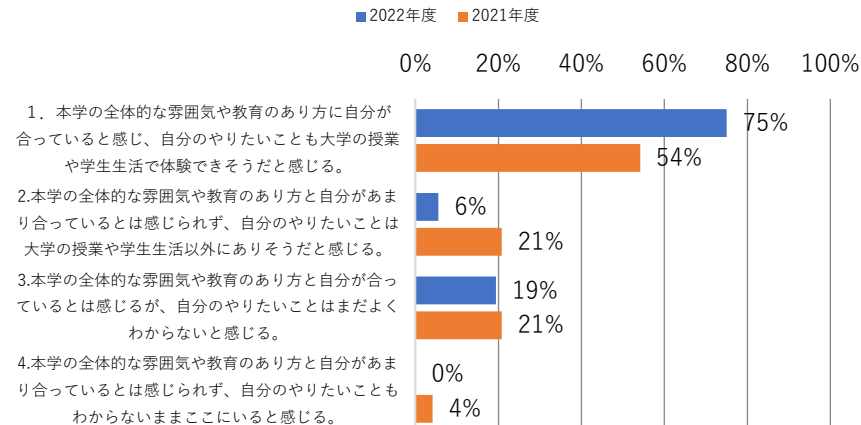
■ 2022年度 ■ 2021年度



臨床検査学専攻



臨床工学専攻

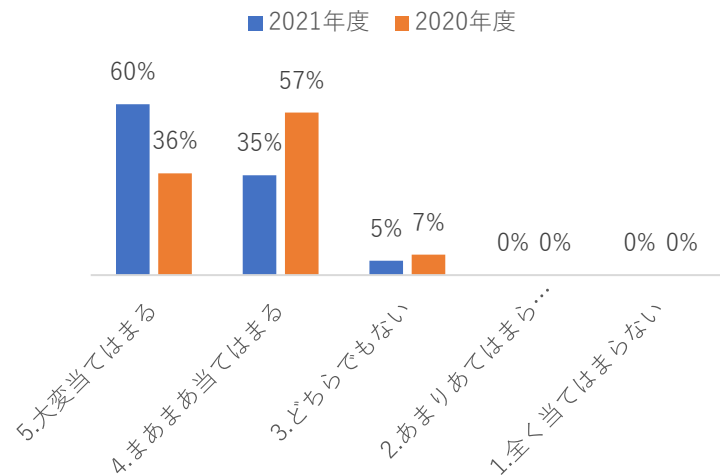


●入学時点の気持ちは、昨年同様に大学の雰囲気や教育のあり方が自分に合っていると感じ、自分のやりたいことが学生生活の中で体験できそうだと感じている学生が多くを占めており、医療技術学部では昨年よりもその割合が増加した。

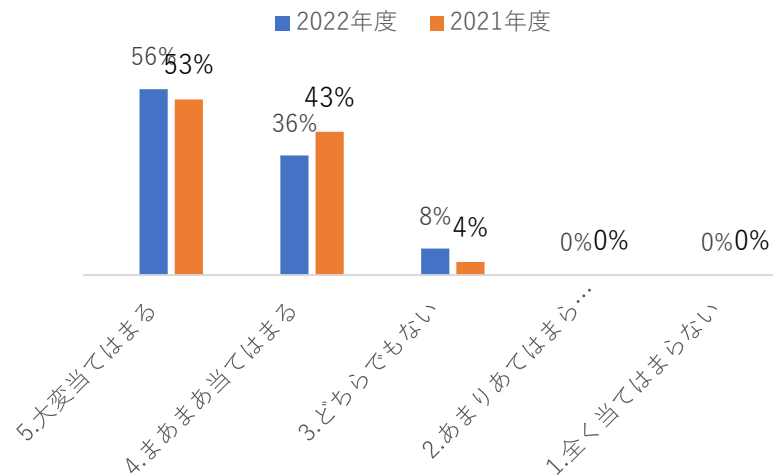
●一方、「自分のやりたいことがわからない」、「わからないままここにいる」と感じている学生は、医療福祉学科13%、社会福祉専攻18%、子ども専攻13%、看護学部10%、理学療法専攻5%、作業療法専攻19%、臨床検査学専攻21%、臨床工学専攻19%となっている。学部、専攻によっては5人に1人（20%）の学生が自分のやりたいことがまだわからないと感じている。

●担任との面談を通じて、このような学生を早期に発見し不安解消のためのサポートを継続的に行う。さらに所属する学部、専攻の魅力及び卒業後のイメージができるようその魅力を伝え、興味関心を持たせる工夫が必要である。

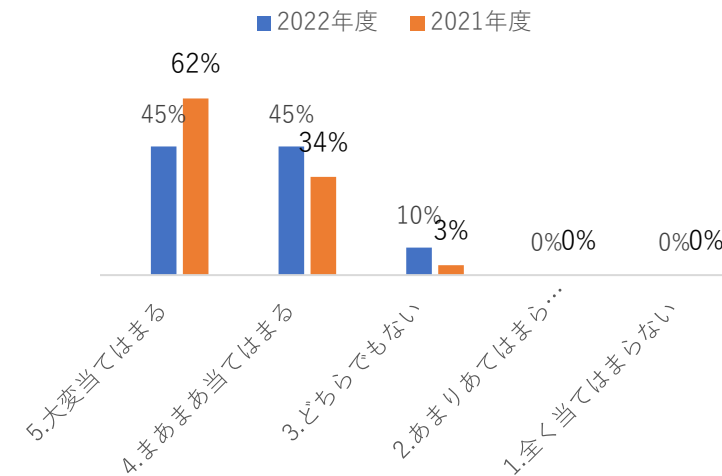
医療福祉学科



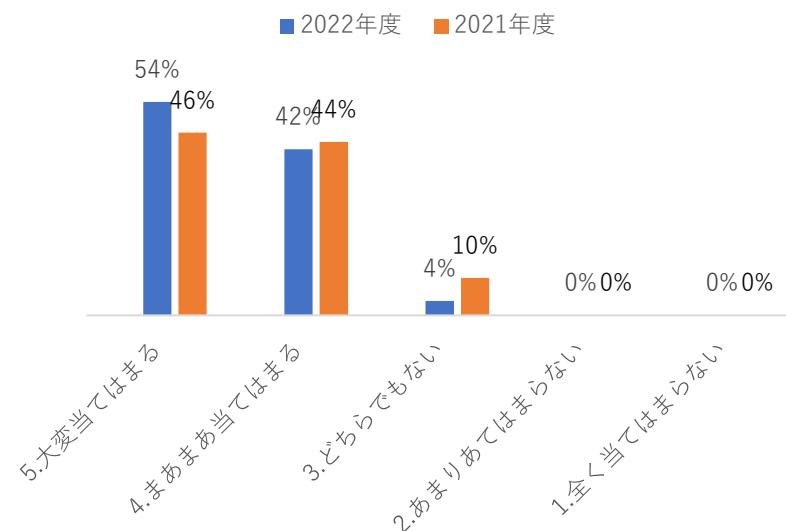
社会福祉専攻



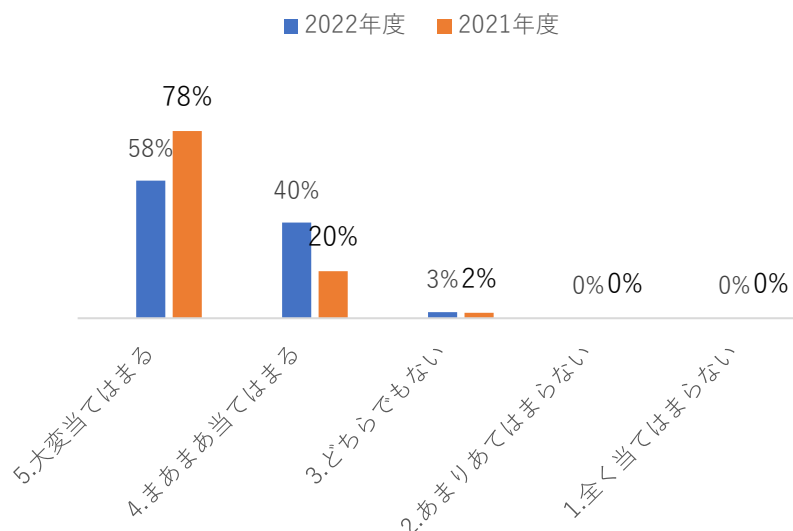
子ども専攻



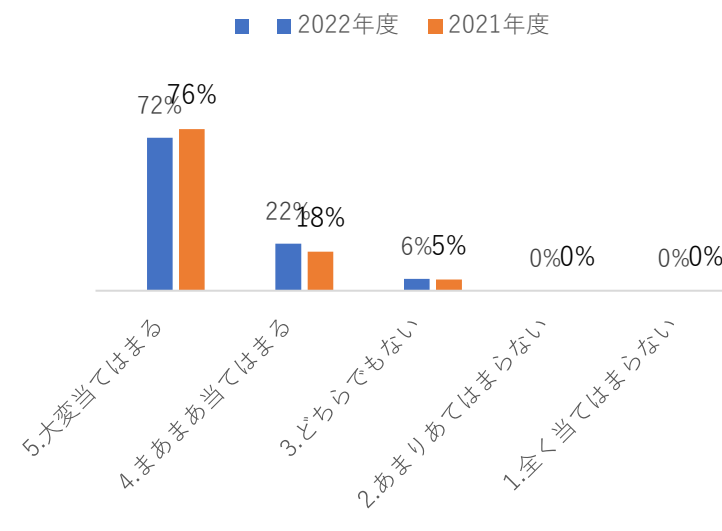
看護学部



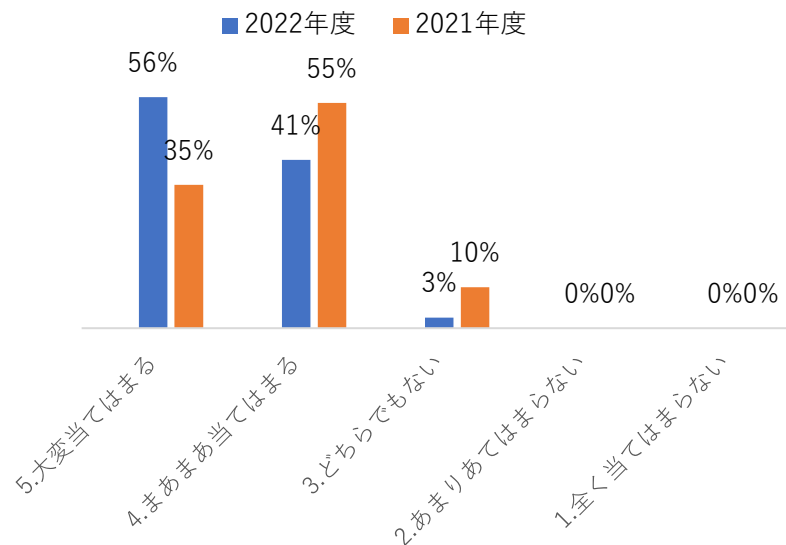
理学療法専攻



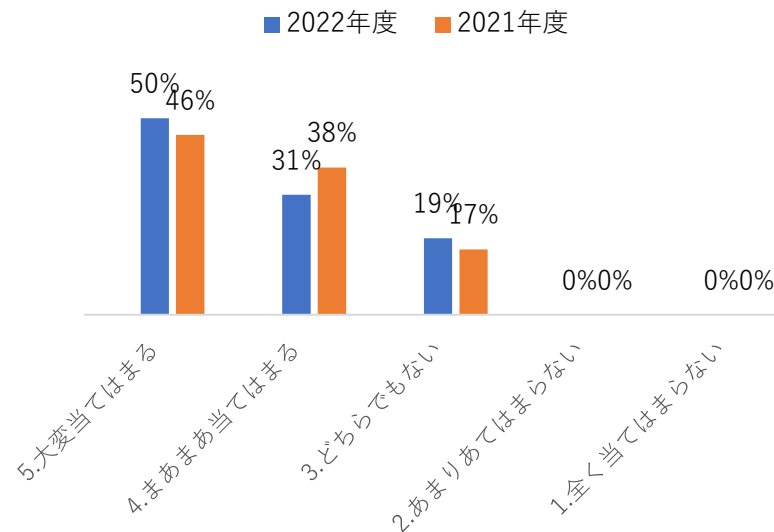
作業療法専攻



臨床検査学専攻



臨床工学専攻



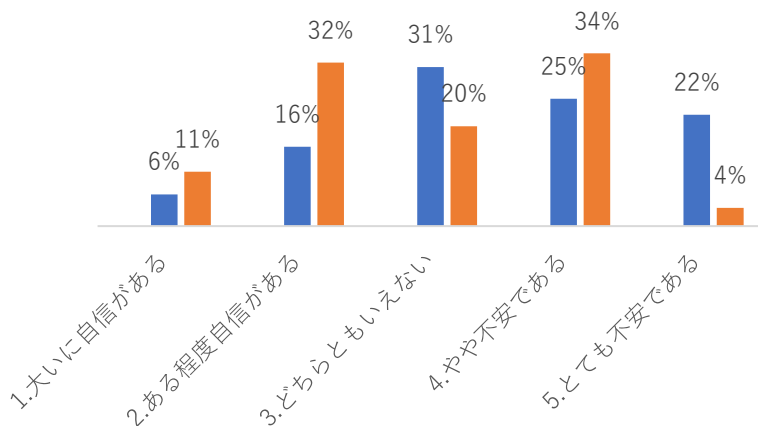
●【大学・短大における授業では、よい授業が多くあると思う】の質問に対して、「大変あてはまる」「まあまああてはまる」と回答した割合をみると臨床工学専攻を除いて90%を超えており、授業の期待度が高いことがわかる。

●臨床工学専攻については81%と決して低い数値ではないが、他学部と比較すると10%近く低い数値となることから今後は出前授業の充実、授業内容の定期配信等の広報活動の充実が求められる。

※（オープンキャンパスでの模擬授業については大変有意義で工夫しながら実施している）

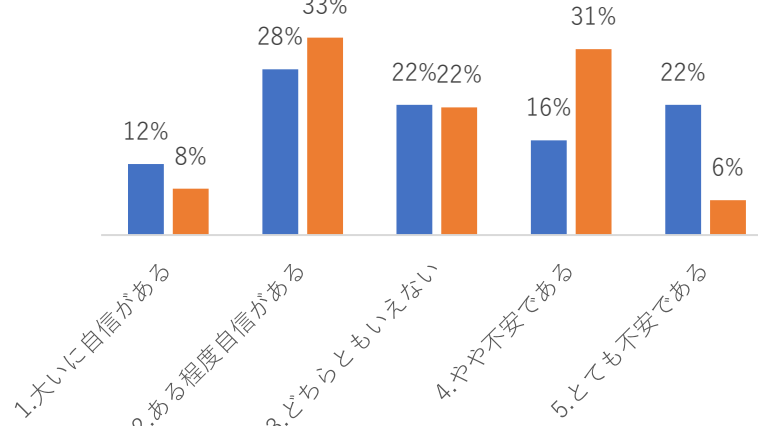
医療福祉学科

■ 2022年度 ■ 2021年度



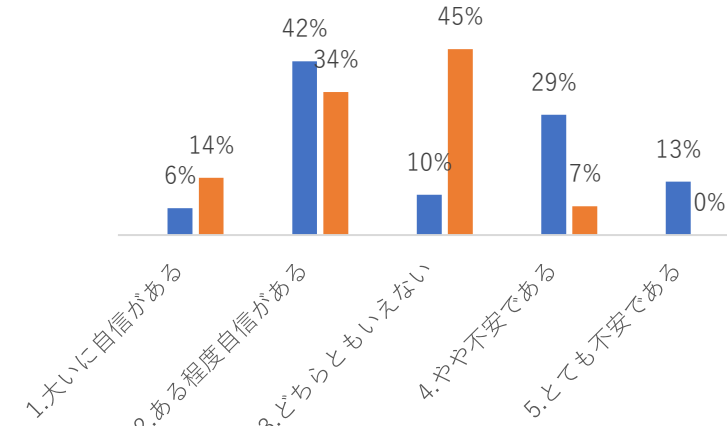
社会福祉専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



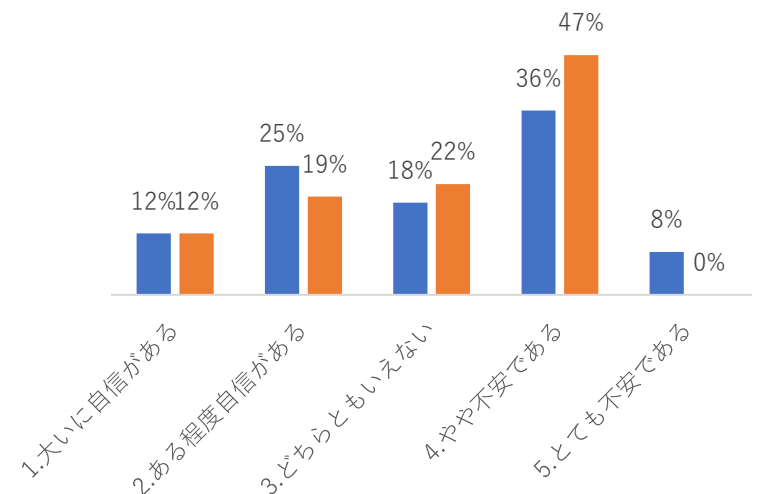
子ども専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



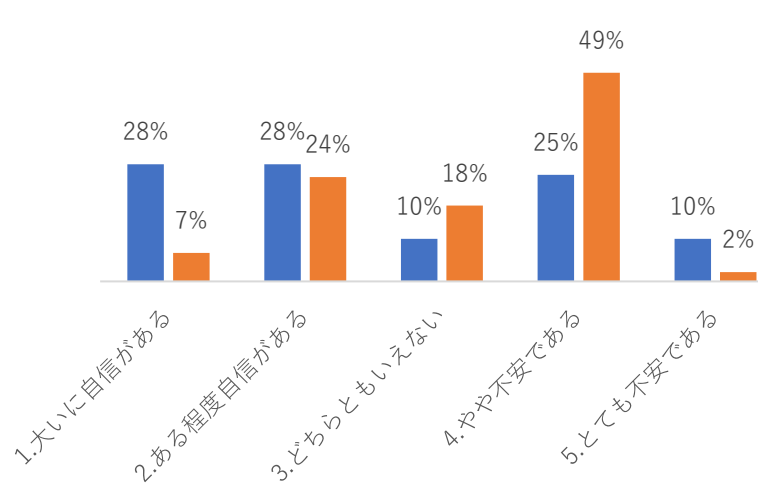
看護学部

■ 2022年度 ■ 2021年度



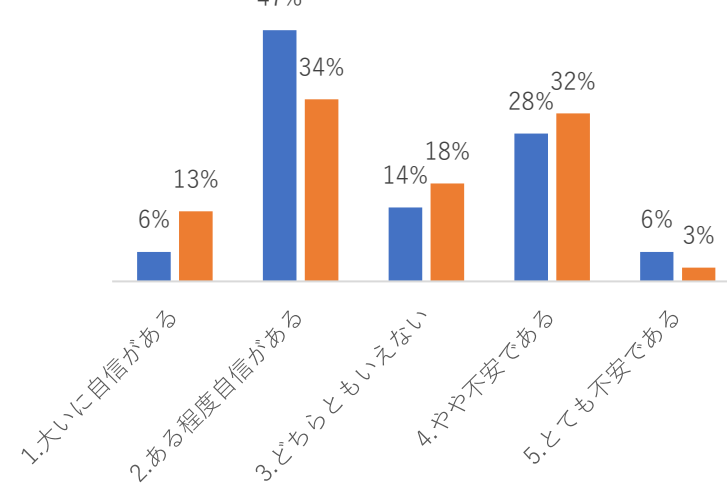
理学療法専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



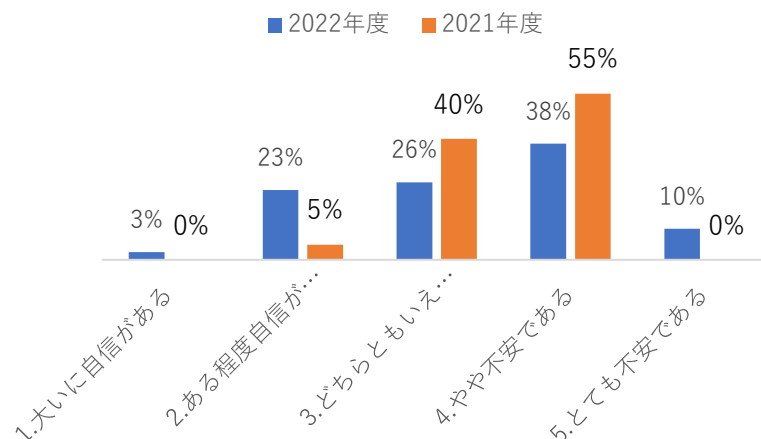
作業療法専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



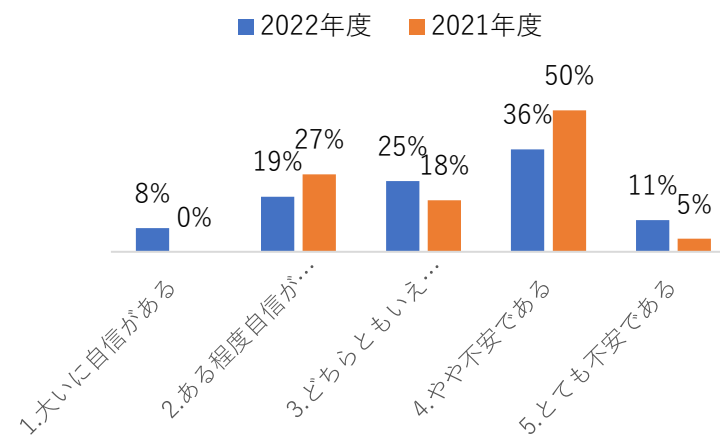
臨床検査学専攻

14 資格について、それを取得するための学習や試験について今の気持ちについて



臨床工学専攻

14 資格について、それを取得するための学習や試験について今の気持ちについて



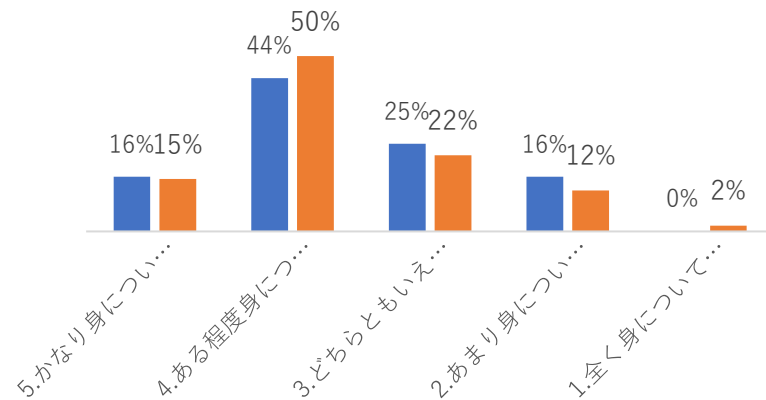
●【資格を取得するための学習や試験についての今の気持ち】について、**2021年度生と比較して「とても不安である」と回答した学生が2022年度入学生で多くの学部、専攻で増加傾向にある。**同時に「大いに自信がある」、「ある程度自信がある」と回答した学生も増加傾向にあり**学生の二極化が顕著**となっている。

●「大いに自身がある」、「ある程度自信がある」と回答した学生の中でその割合が一番高くなったのは、昨年に引き続き**53%の作業療法専攻**であった。

●「**やや不安である**」「**とても不安である**」と回答した学生は社会福祉専攻、理学療法専攻、作業療法専攻では約35%、その他の学部、専攻ではいずれも約45%となっており、資格取得に向けて不安要素の強い学生が多く存在している。**スモールステップ法、自己効力感を高める工夫、課題解決型学習等を通じて、学生に達成感を得させることが不安の解消**に繋がると考えられる。

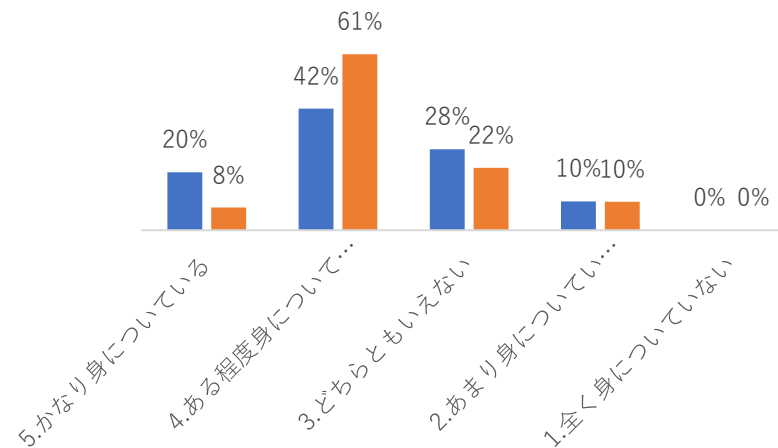
医療福祉学科

2022年度 2021年度



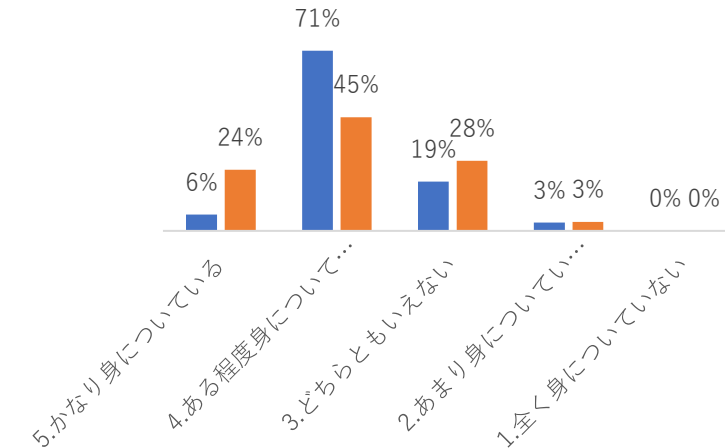
社会福祉専攻

2022年度 2021年度



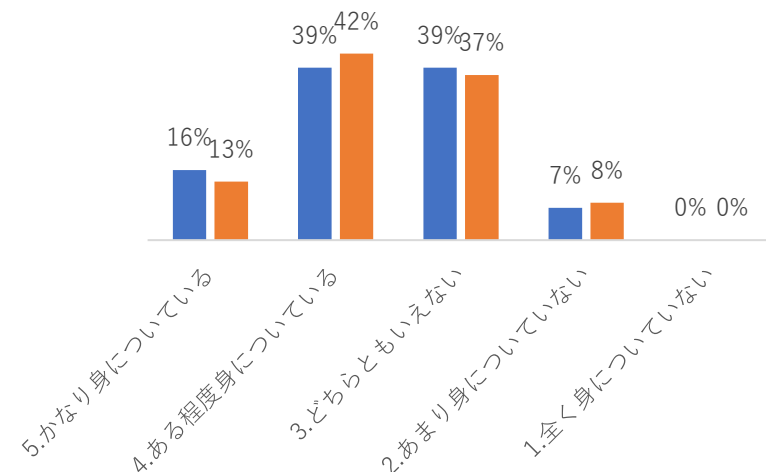
子ども専攻

2022年度 2021年度



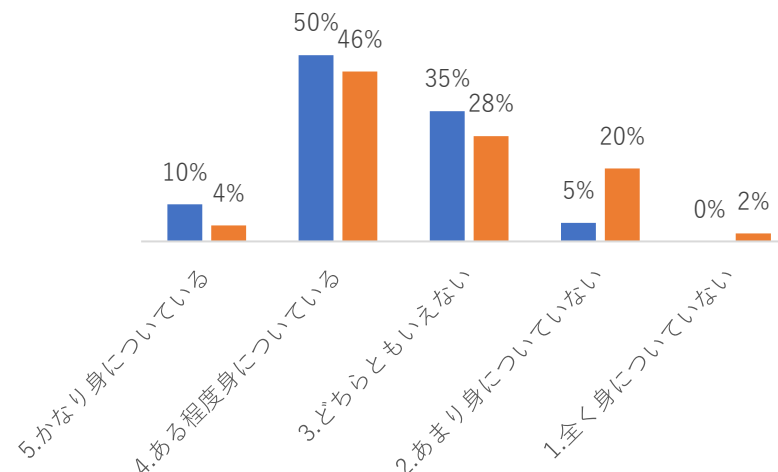
看護学部

2022年度 2021年度



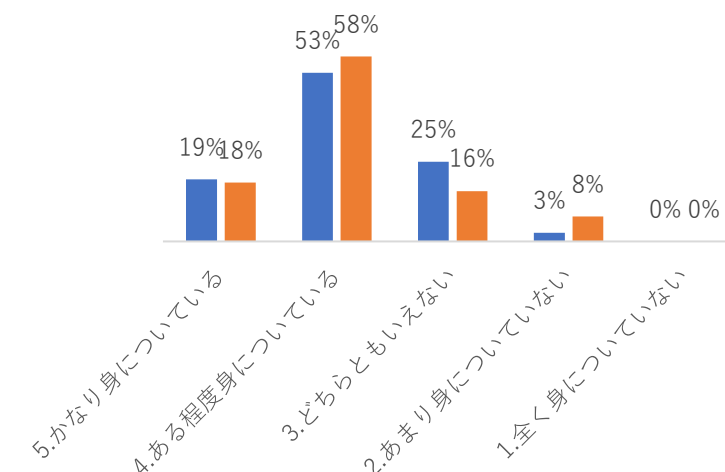
理学療法専攻

2022年度 2021年度

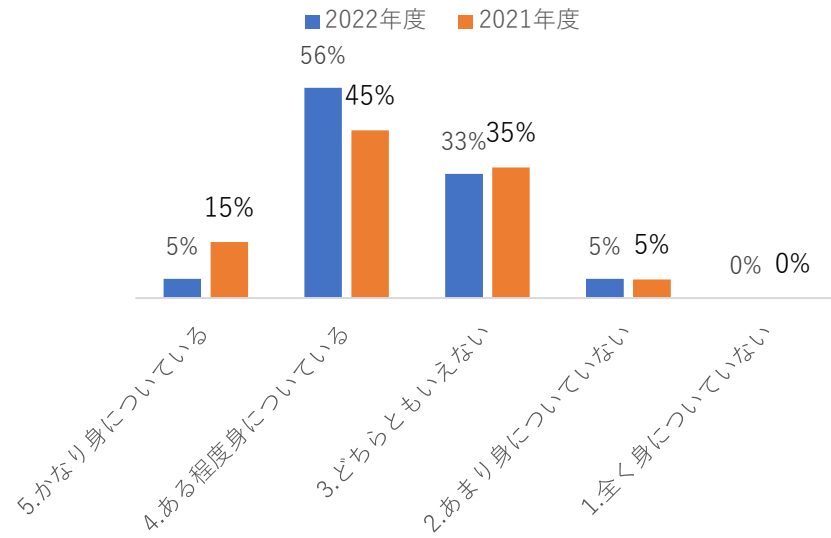


作業療法専攻

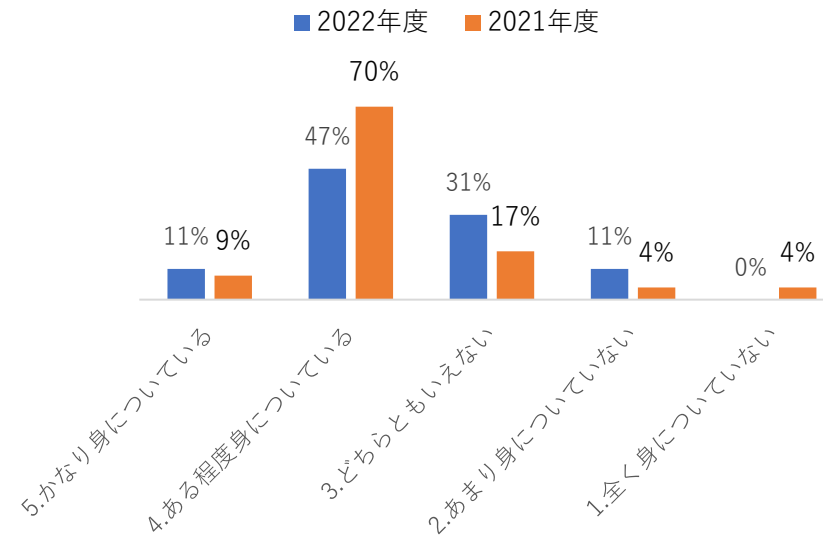
2022年度 2021年度



臨床検査学専攻



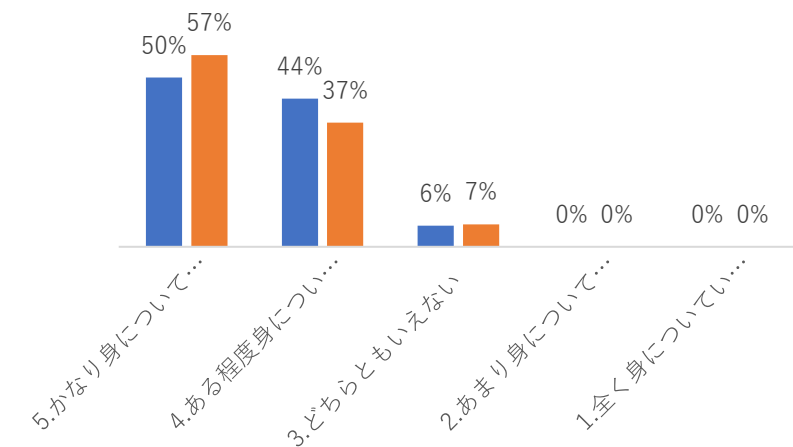
臨床工学専攻



●どの学部にも一定数の「あまりに身についていない」が存在しているものの、過半数は「複数の視点から考える力」が身につけられている。大学での学びを通して更に伸ばしていけるようにしていく必要がある。2022年度は「全く身についていない」と回答した学生はいなかった。

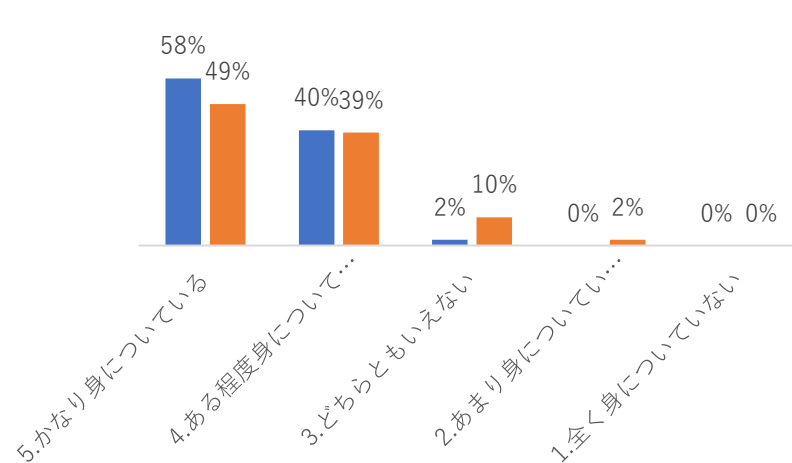
医療福祉学科

■ 2022年度 ■ 2021年度



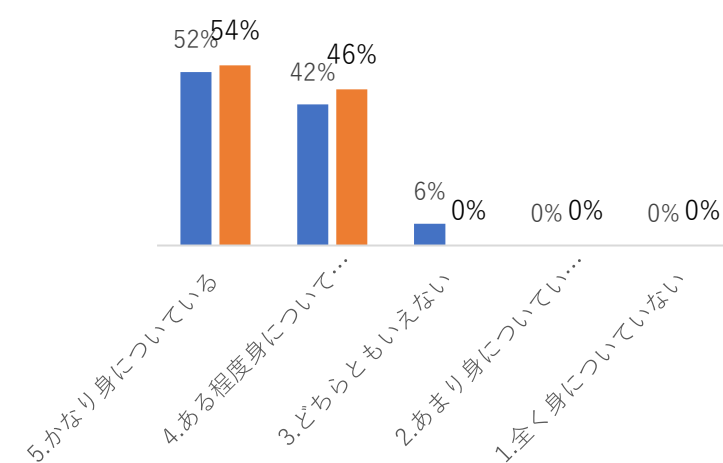
社会福祉専攻

■ 2022年度 ■ 2021年度



子ども専攻

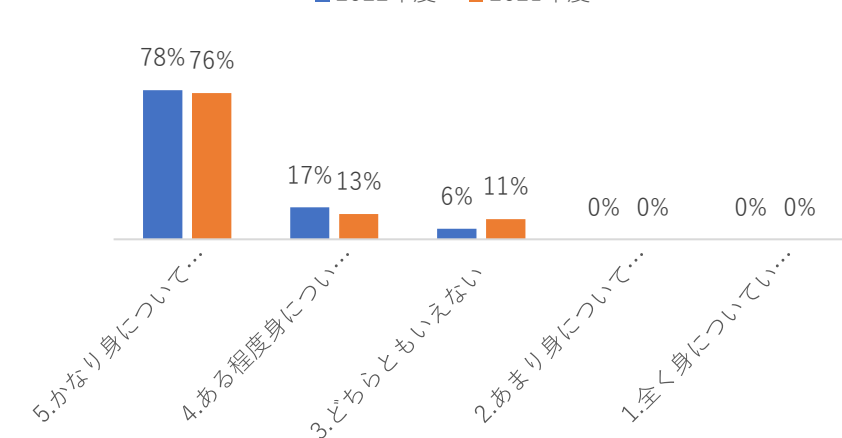
■ 2022年度 ■ 2021年度



看護学部

15-5 自分や他人を大切に思いやる力

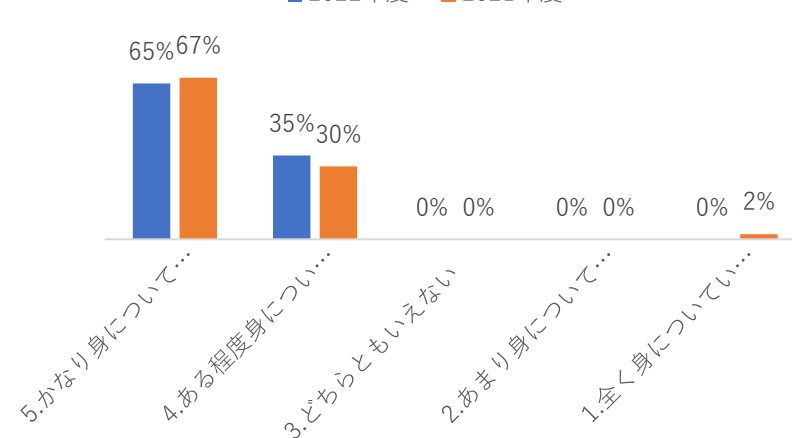
■ 2022年度 ■ 2021年度



理学療法専攻

15-5 自分や他人を大切に思いやる力

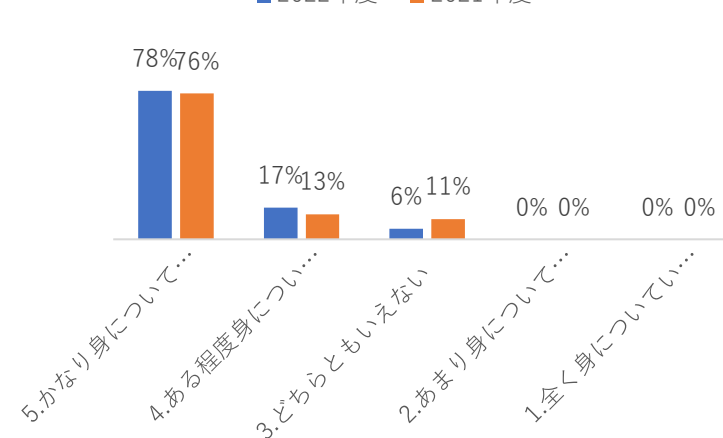
■ 2022年度 ■ 2021年度



作業療法専攻

15-5 自分や他人を大切に思いやる力

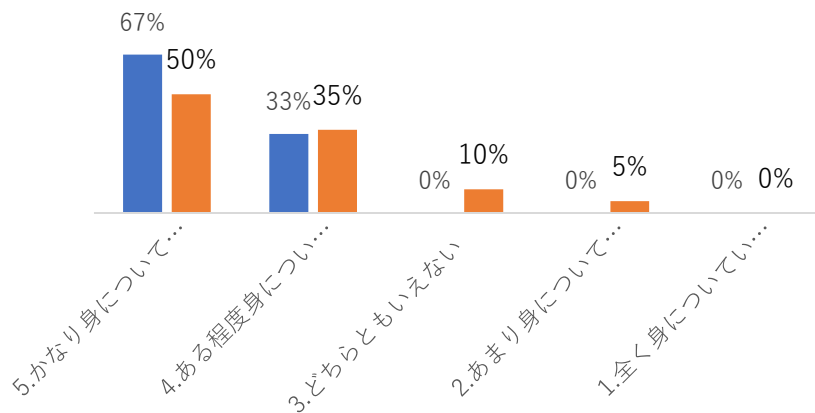
■ 2022年度 ■ 2021年度



臨床検査学専攻

15-5 自分や他人を大切に思いやる力

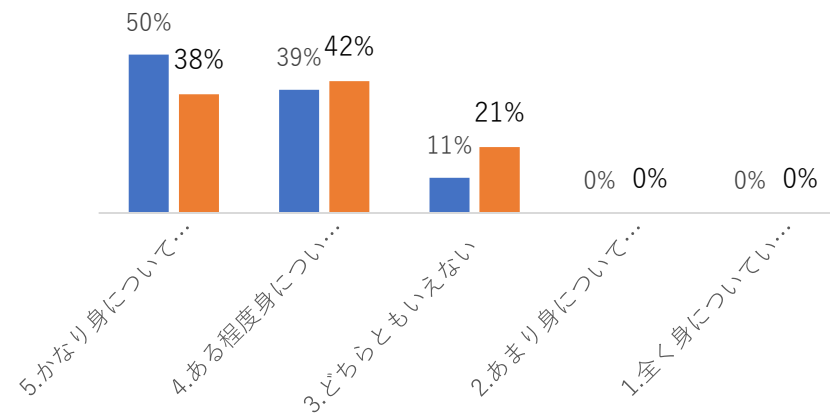
■ 2022年度 ■ 2021年度



臨床工学専攻

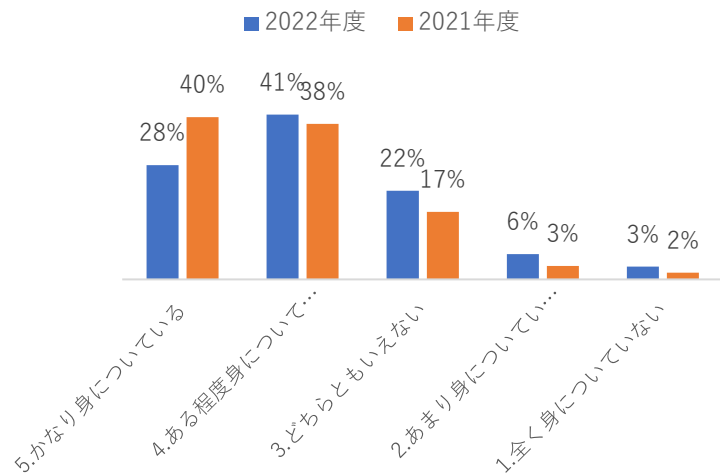
15-5 自分や他人を大切に思いやる力

■ 2022年度 ■ 2021年度

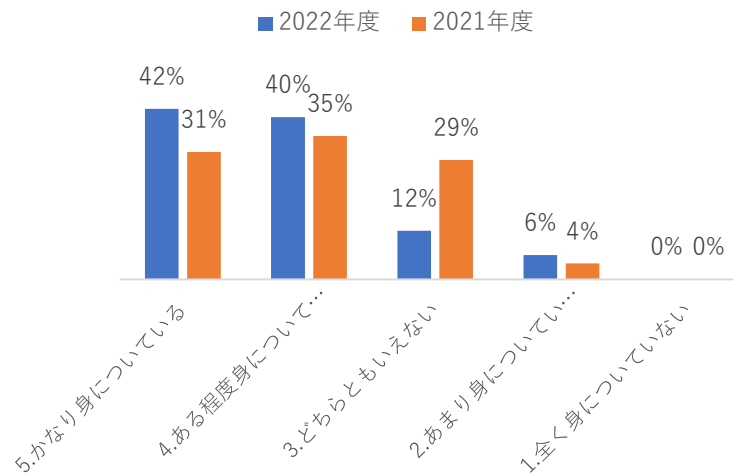


●本学の学生らしく「他人を大切に思いやる力」については「かなり身についている」「ある程度身についている」と回答する学生がほとんどであった。**建学の精神である仁を理解し、実践できる学生が多く入学**してくれたことがわかる。

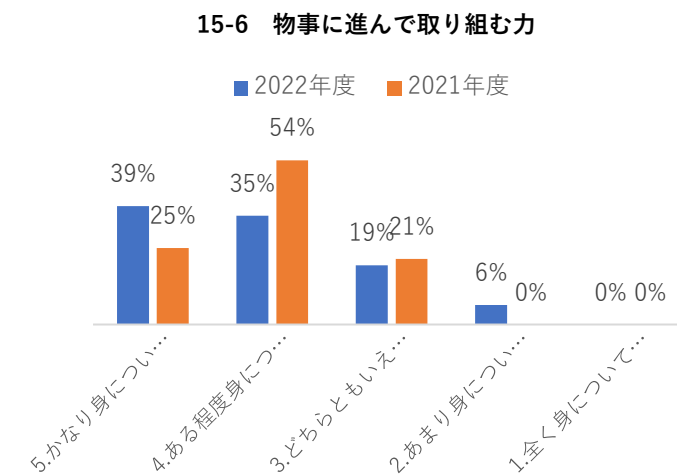
医療福祉学科



社会福祉専攻

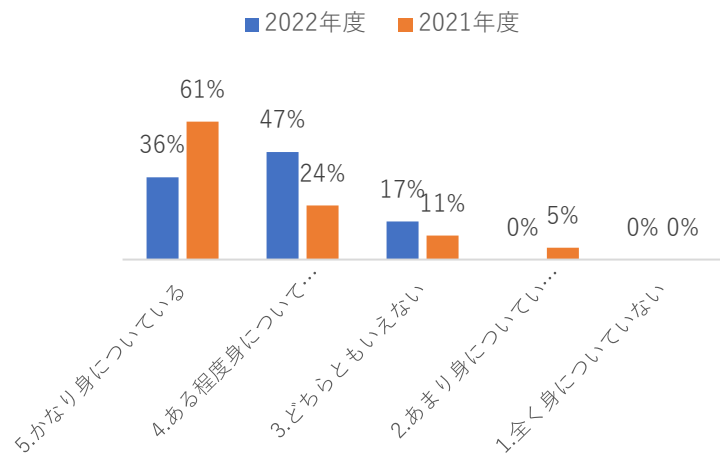


子ども専攻

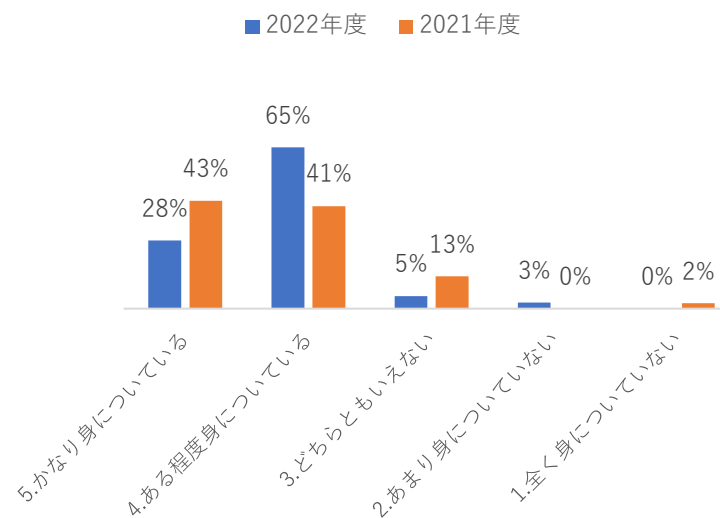


看護学部

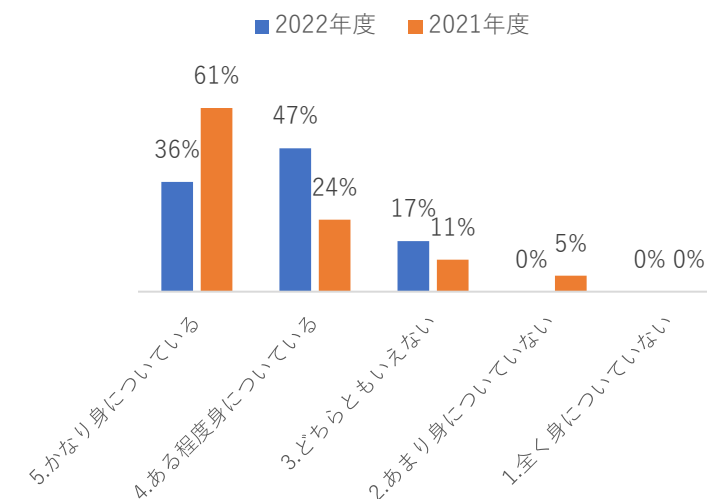
15-6 物事に進んで取り組む力



理学療法専攻

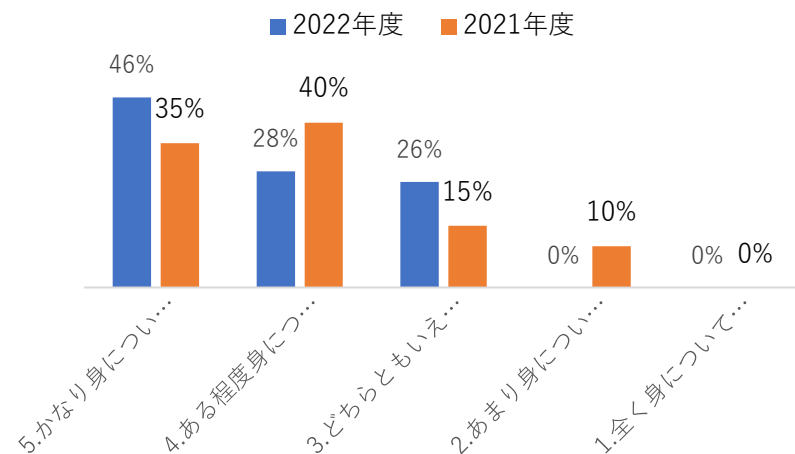


作業療法専攻



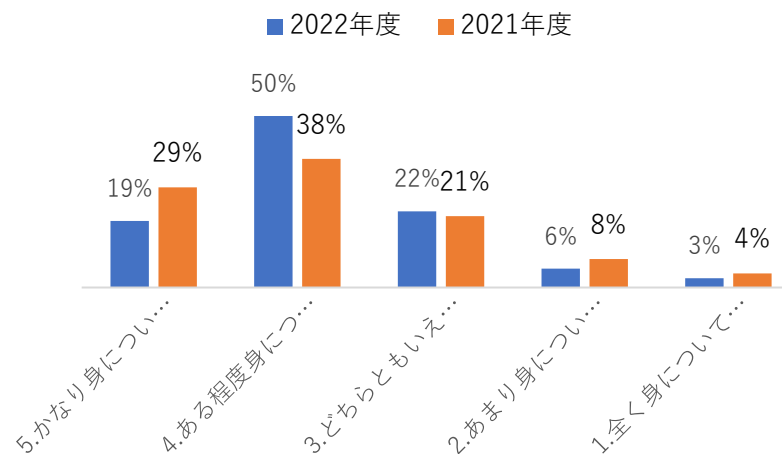
臨床検査学専攻

15-6 物事に進んで取り組む力



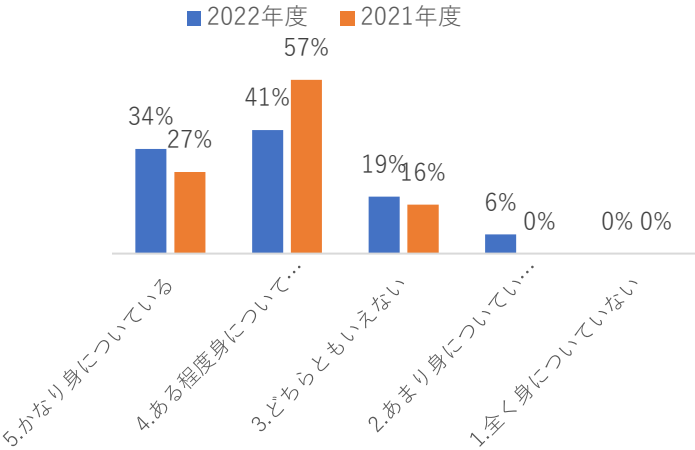
臨床工学専攻

15-6 物事に進んで取り組む力

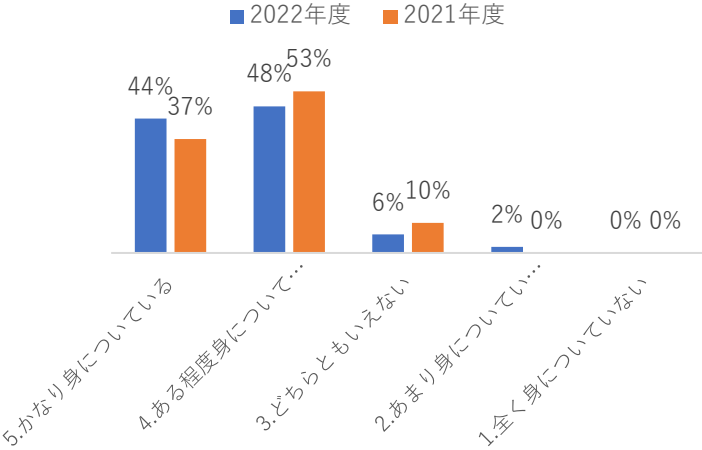


●少数ではあるが、どの学部・専攻にも「物事に進んで取り組む力」に欠けている学生が存在している。大学・短大が高等教育機関である以上、進んで取り組む力、主体性、を修得させるのが喫緊の課題であり、割合がわずかとはいえ、早急に学生の意識改善に取り組まなければならない。

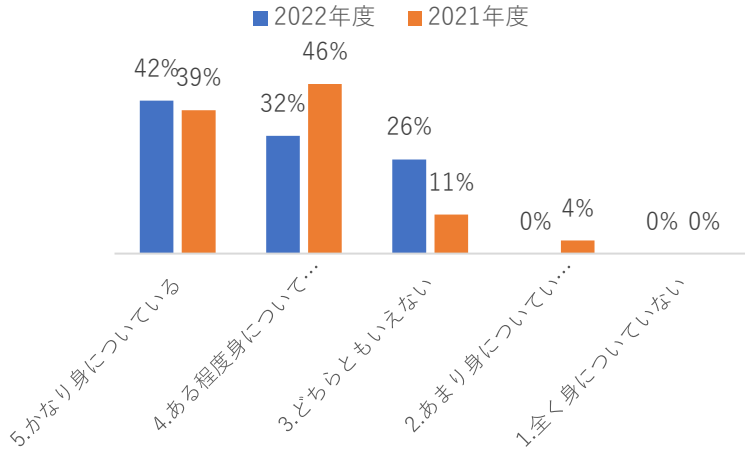
医療福祉学科



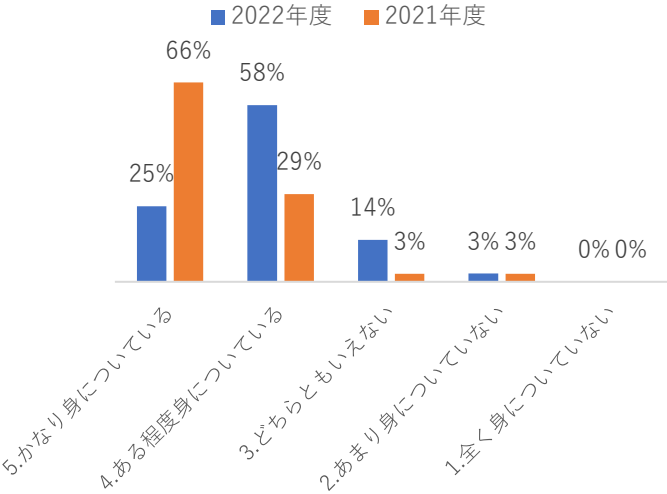
社会福祉専攻



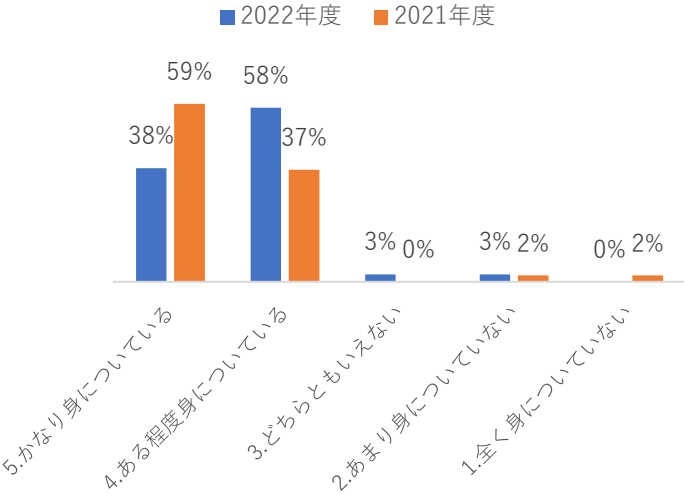
子ども専攻



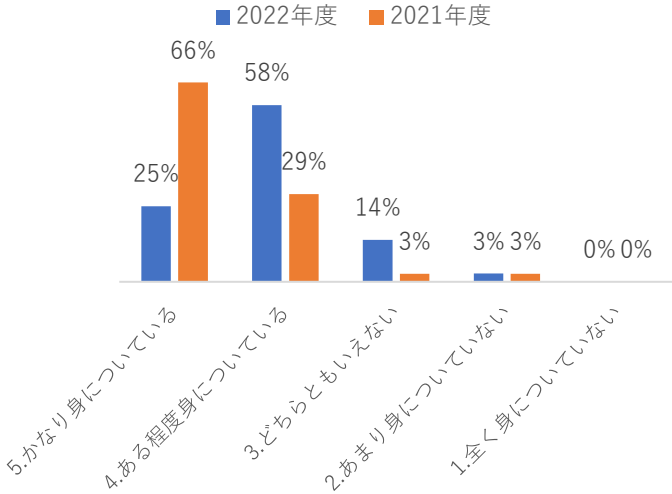
看護学部



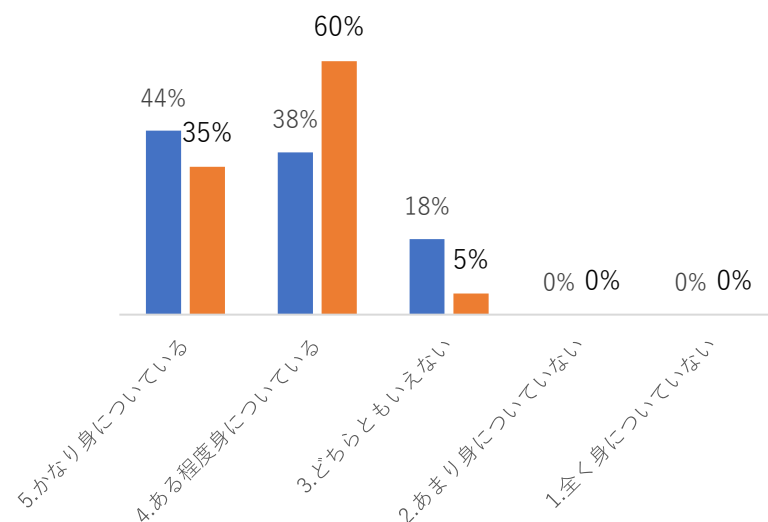
理学療法専攻



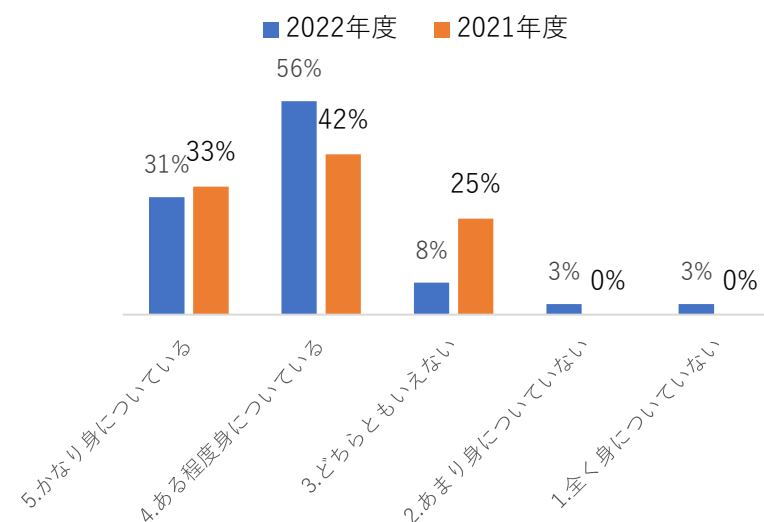
作業療法専攻



臨床検査学専攻

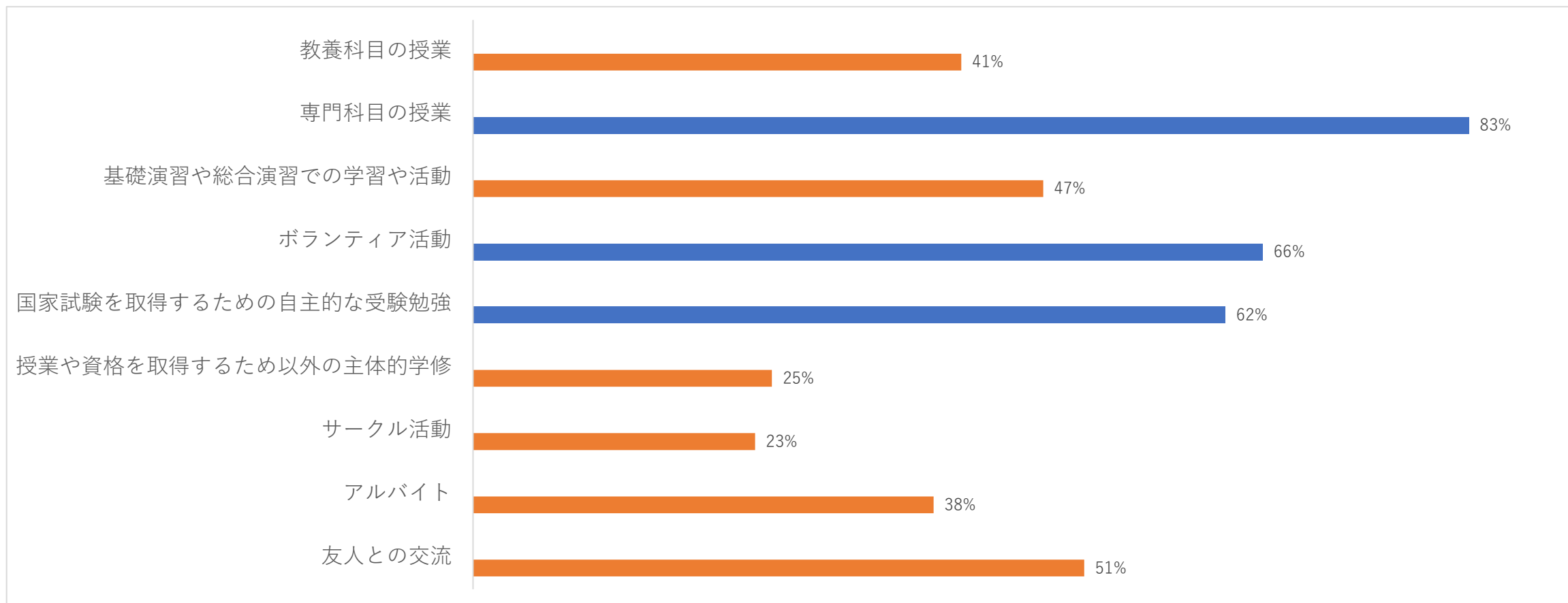


臨床工学専攻

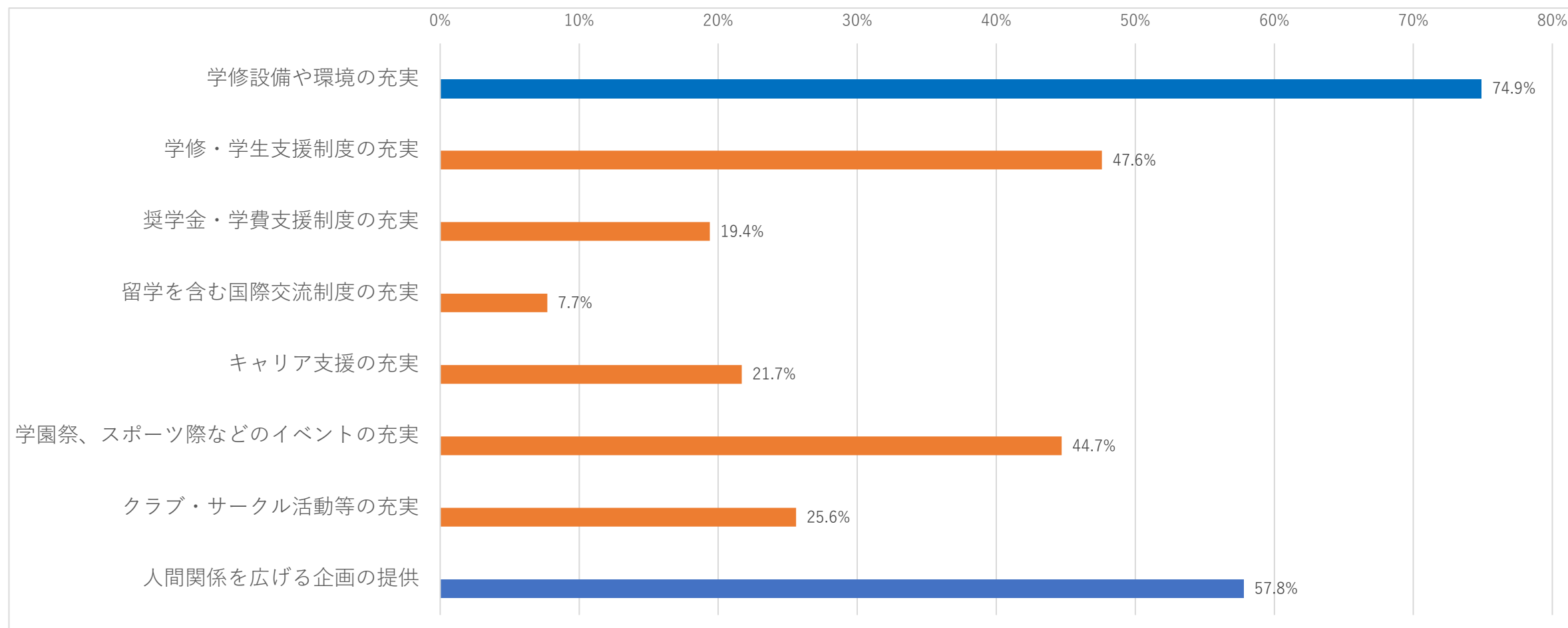


● 学び続けていこうという気持ちや態度について2020年度入学生と2021年度入学生を比較して医療福祉学科、子ども専攻においては「どちらともいえない」「あまり身についていない」と回答する学生が25%程度となっており、4人に1人の割合で自ら進んで学び続けることを苦手とする学生が多い傾向がある可能性が高い。

● その他学部、専攻では意欲的に何事にも積極的に取り組んでいこうという気持ちのある学生が多く入学したと考えられる。

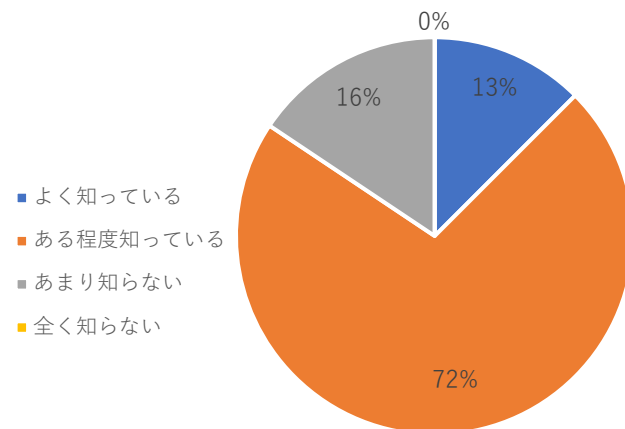


●学生生活においてどのようなことをして力を身につけたいかの質問に対して1.専門科目の授業、2.ボランティア活動、3.国家試験を取得するための自主的な受験勉強が上位を占めた。ボランティア活動においては本学の根幹となるものであり、学生も期待していることが伺える。コロナ禍においても学生ができることを工夫しながらチャレンジできる体制づくりが急務である。



●授業以外で大学に期待することの質問に対して**1.学修設備や環境の充実、2.人間関係を広げる企画の提供が50%以上となっている。ICT機器の充実や学生が自由に学べる場の環境づくり ラーニングコモンスの設置**などの検討が必要。またコロナ禍において人間関係が希薄化していることもあり、学生の横のつながりは勿論のこと、縦のつながり・さらには**学部間の交流事業などの実施**が望まれる。

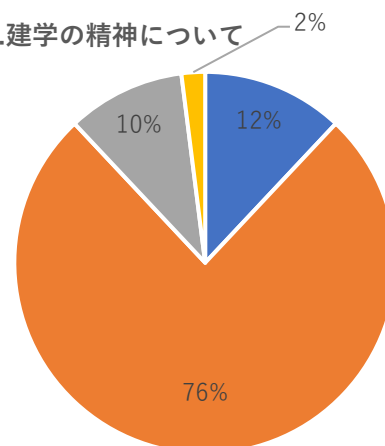
医療福祉学科



社会福祉専攻

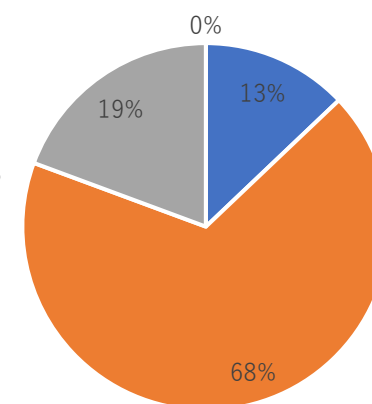
19.建学の精神について

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

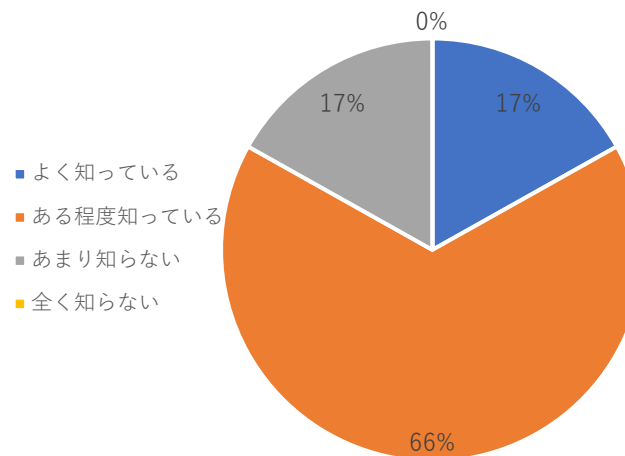


子ども専攻

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

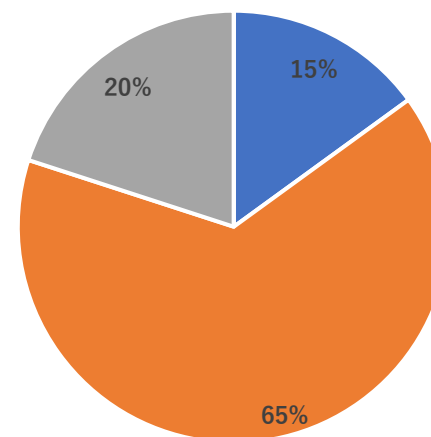


看護学部



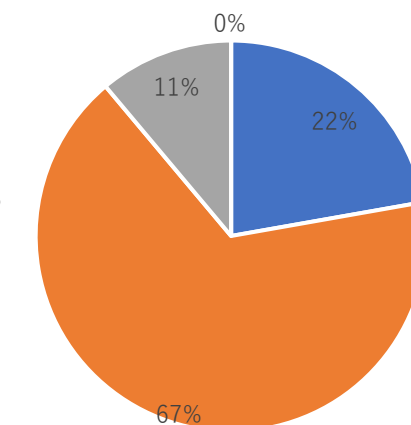
理学療法専攻

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

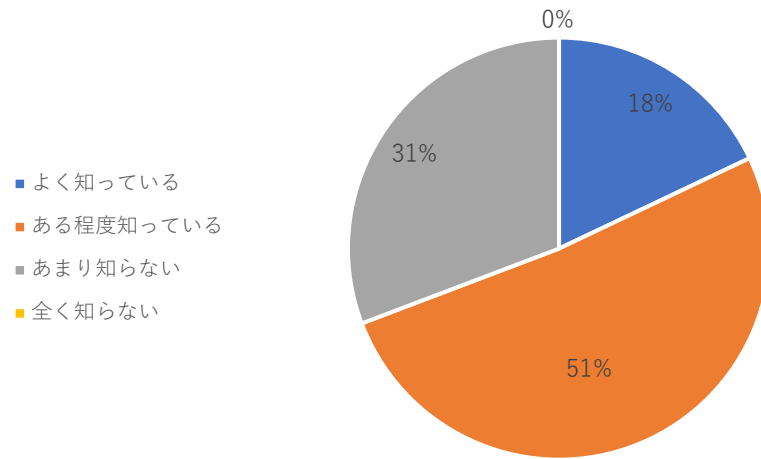


作業療法専攻

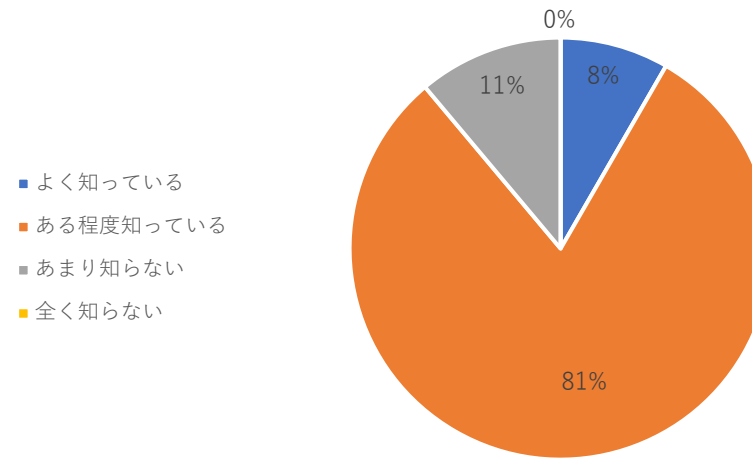
- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない



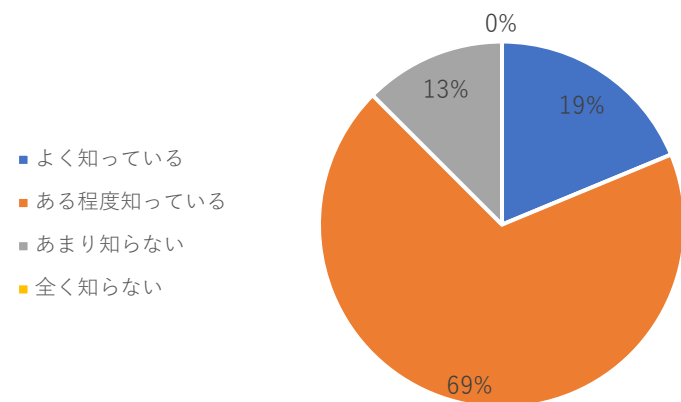
臨床検査学専攻



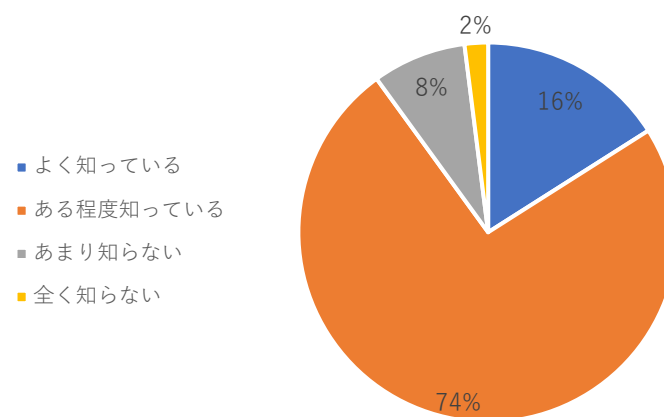
臨床工学専攻



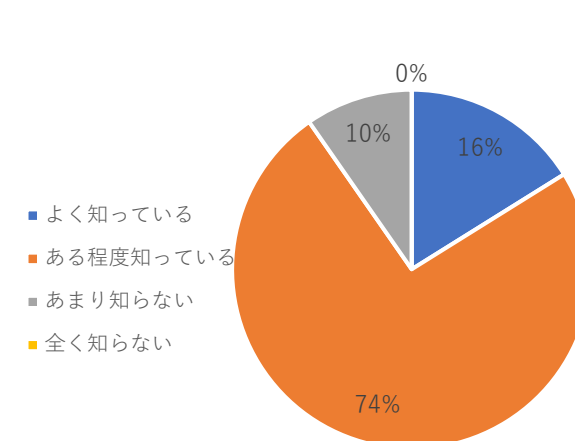
医療福祉学科



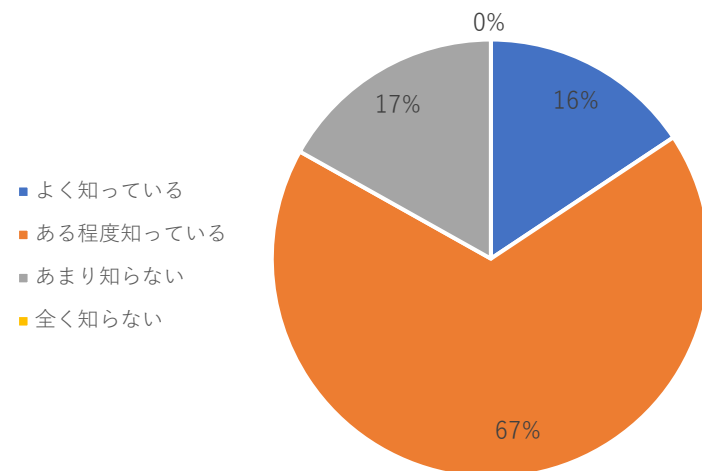
社会福祉専攻



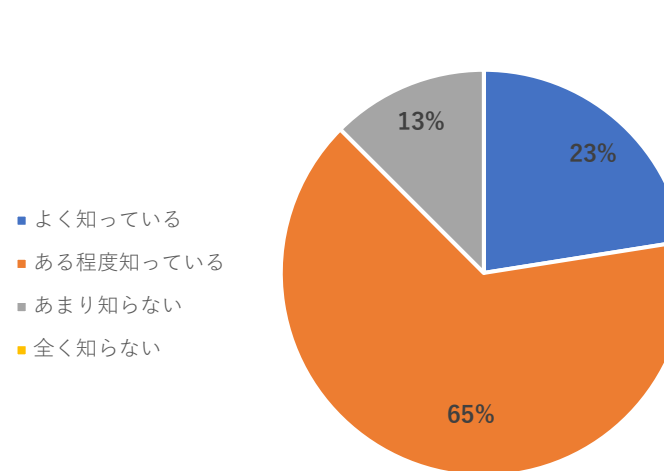
子ども専攻



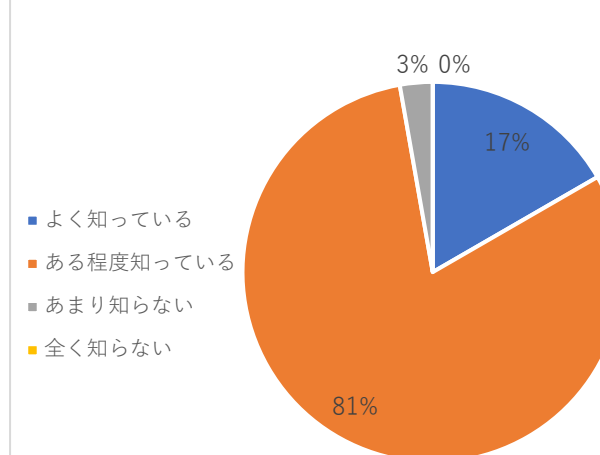
看護学部



理学療法専攻

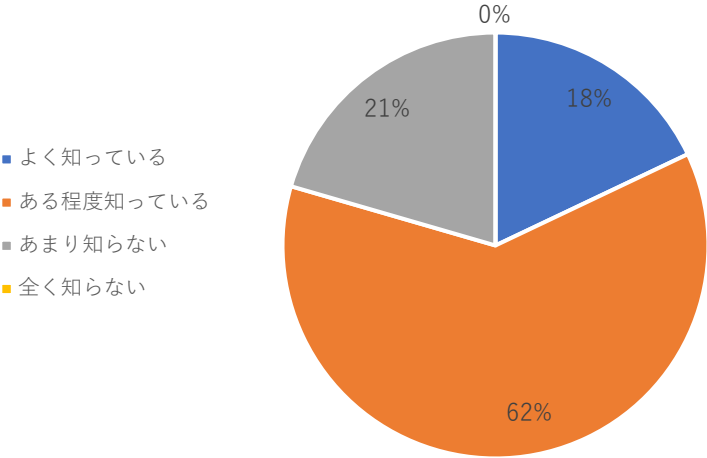


作業療法専攻



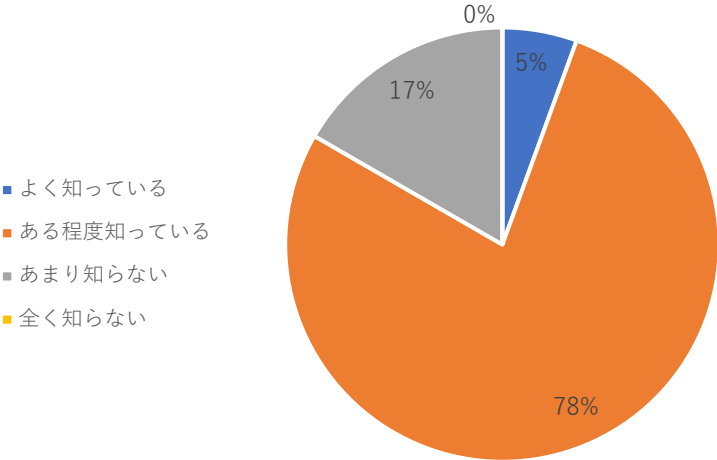
臨床検査学専攻

20.本学の教育方針について

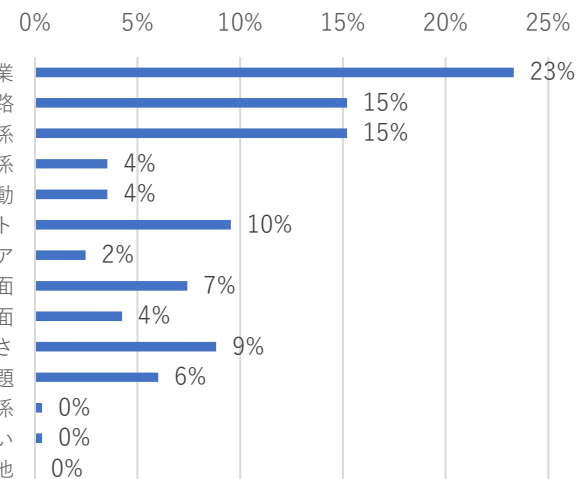


臨床工学専攻

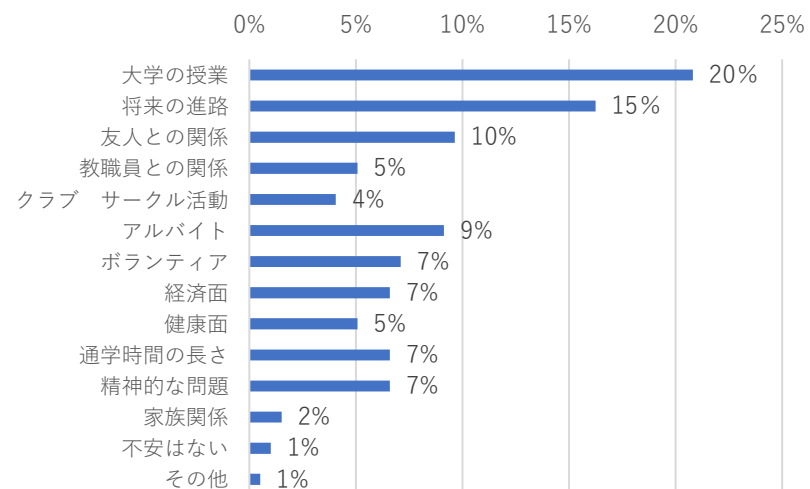
20.本学の教育方針について



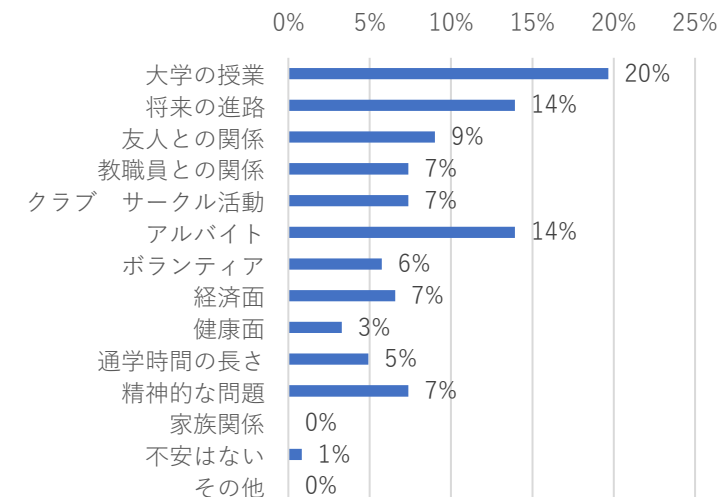
医療福祉学科



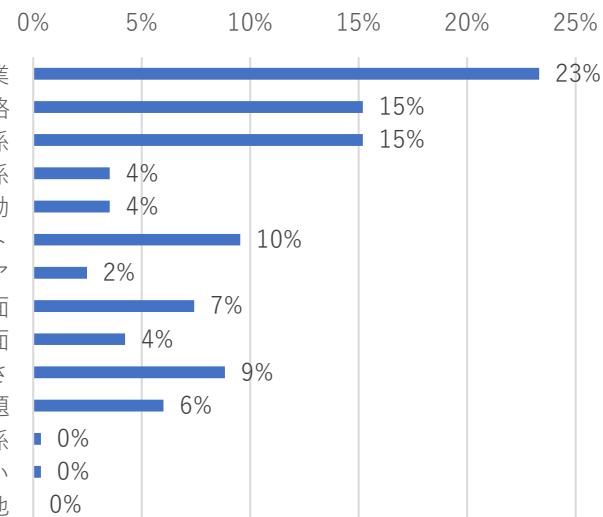
社会福祉専攻



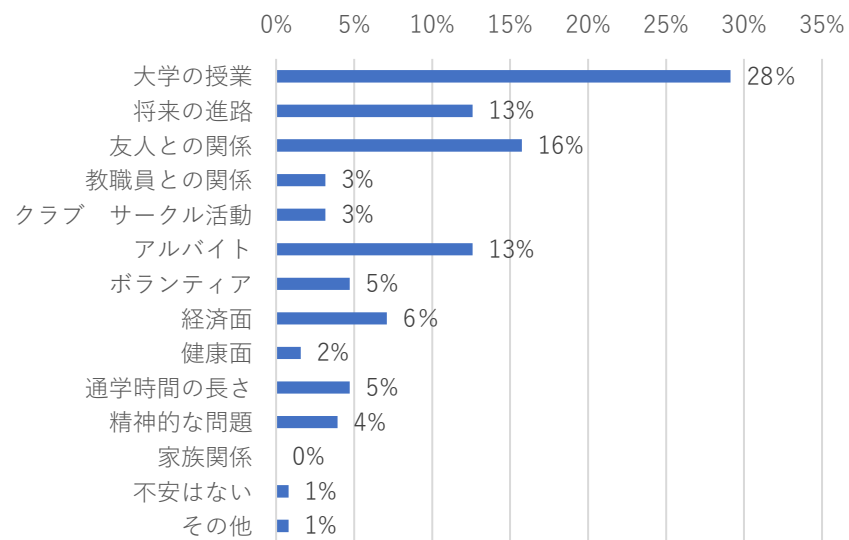
子ども専攻



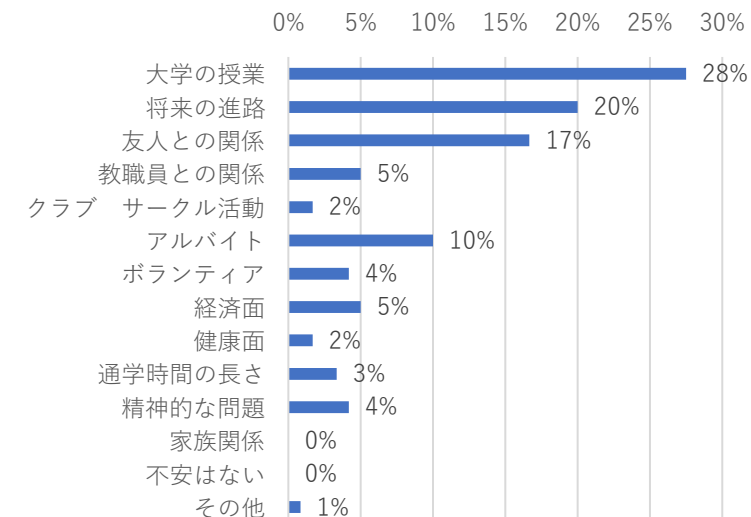
看護学部



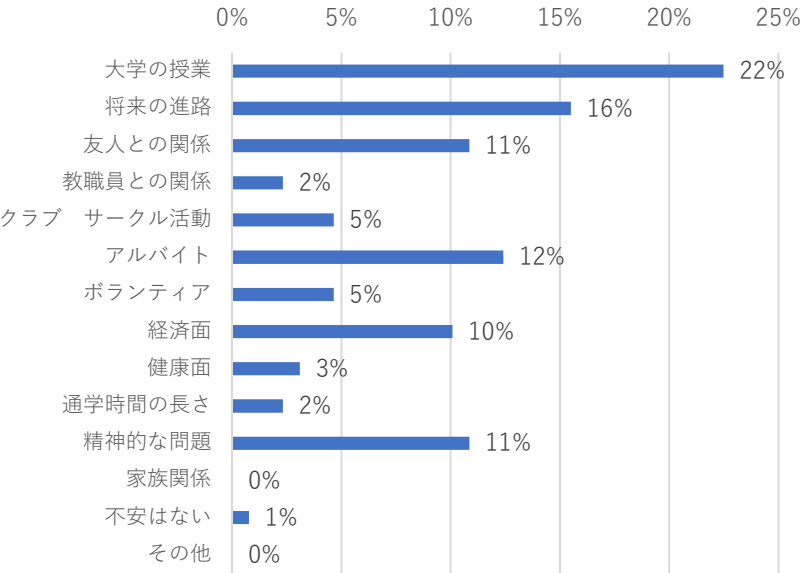
理学療法専攻



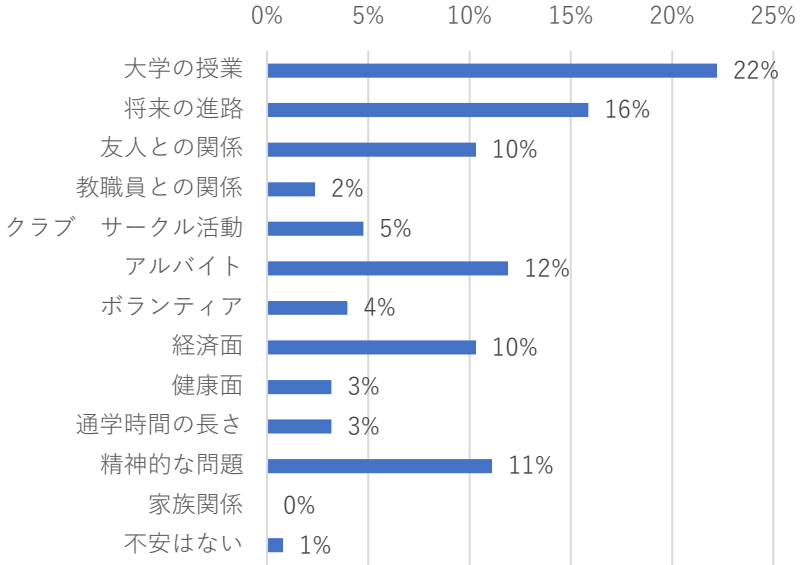
作業療法専攻

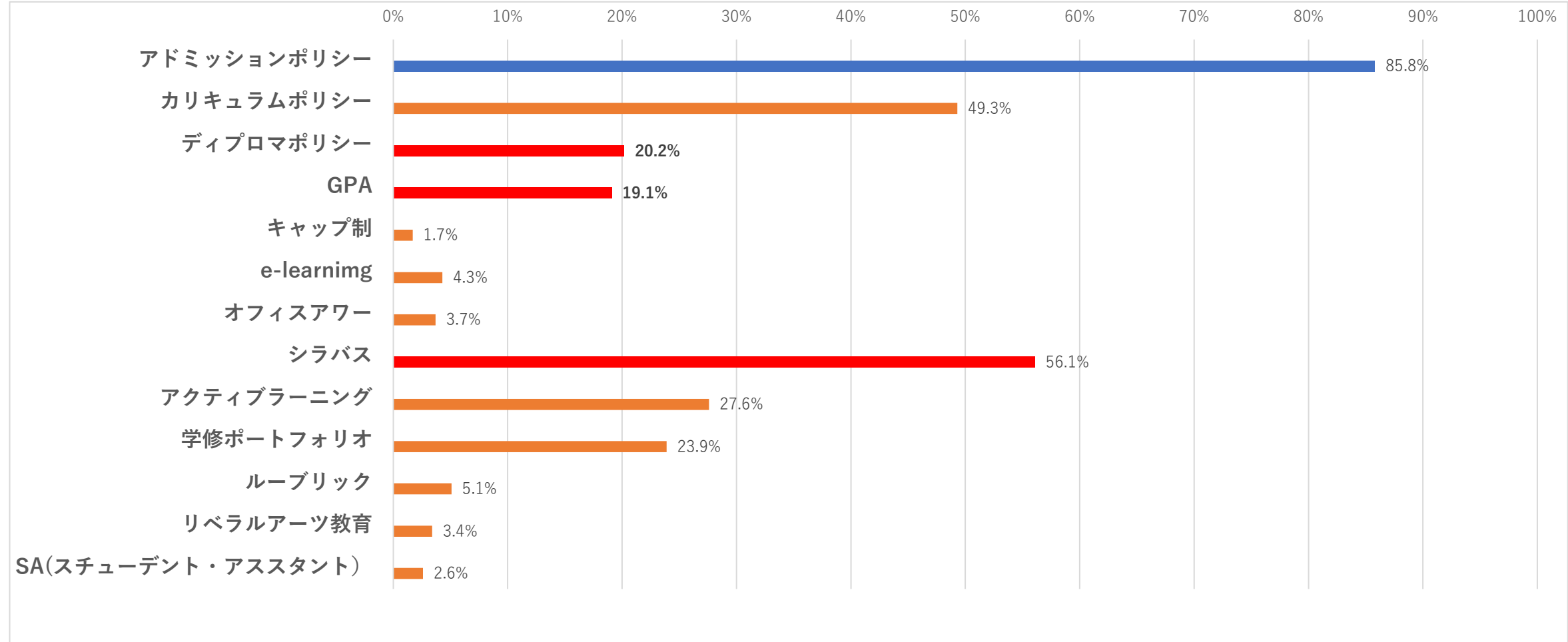


臨床検査学専攻



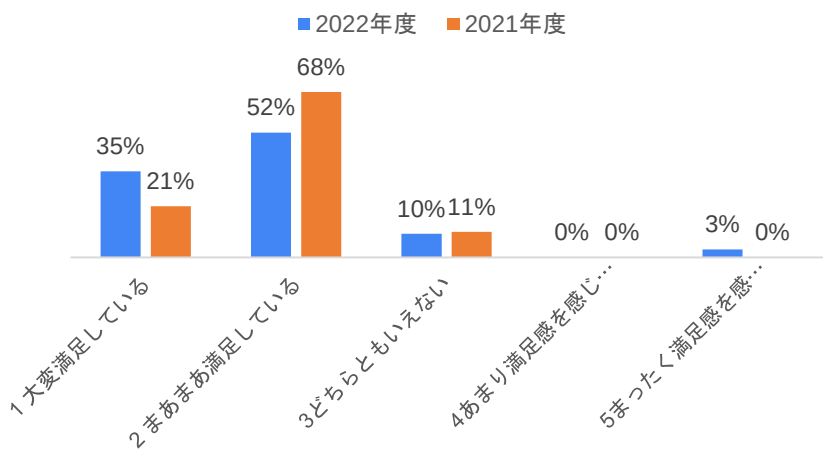
臨床工学専攻



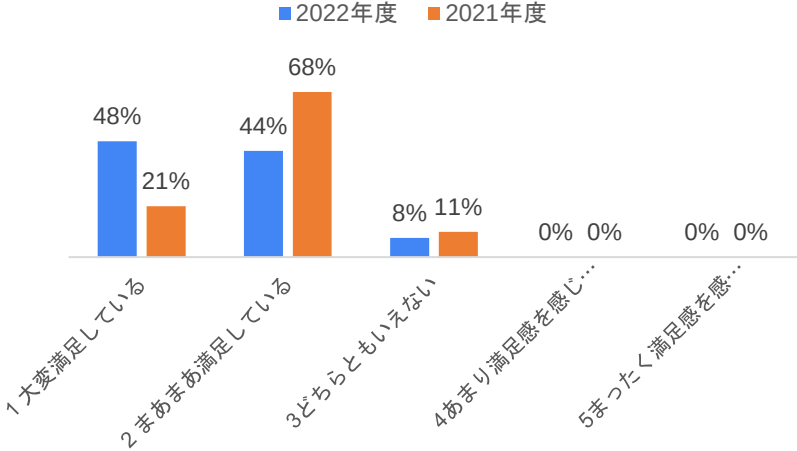


●入学時点において知っている大学の専門用語に関する質問である。今後、ディプロマポリシー、GPA、シラバスにおいては大学教育の重要な用語として度々出てくるので更なる学生への浸透が望まれるため、基礎演習を通じて学生に指導をしていく必要がある。

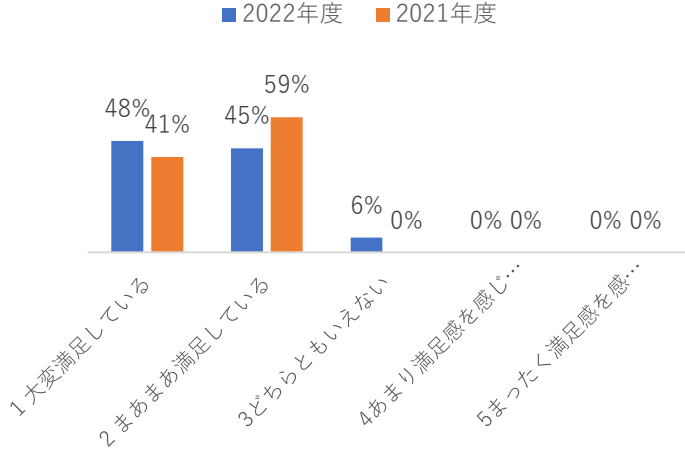
医療福祉学科



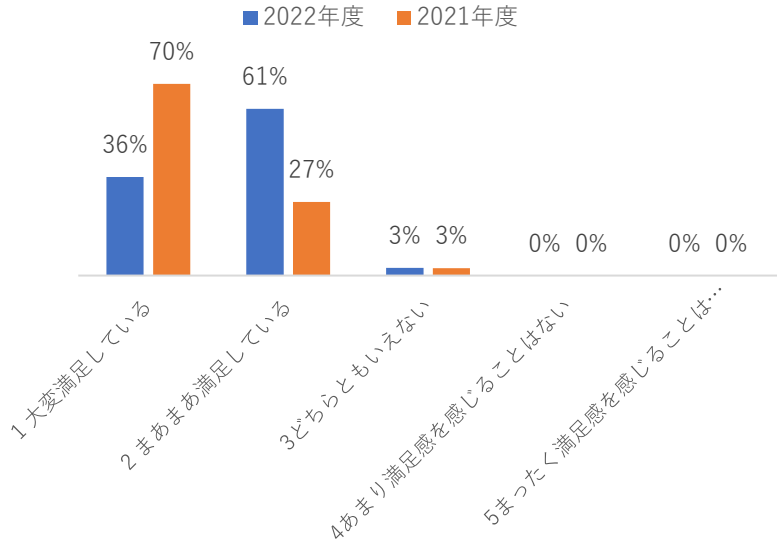
社会福祉専攻



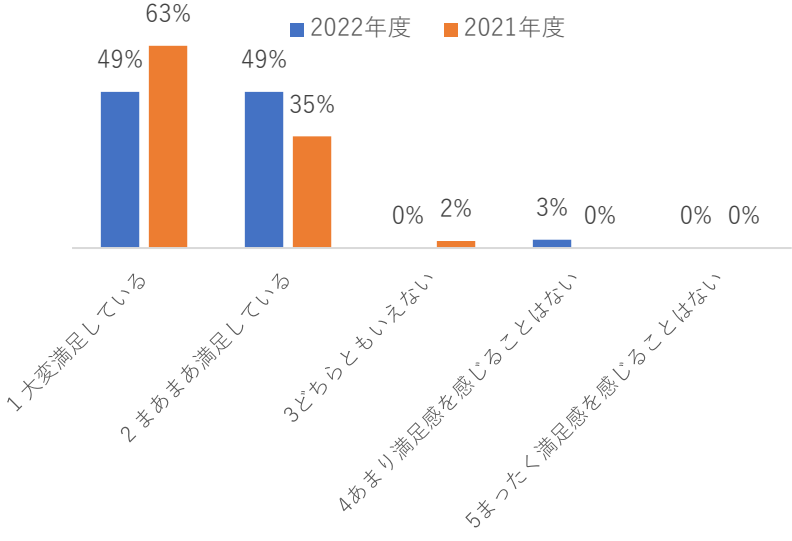
子ども専攻



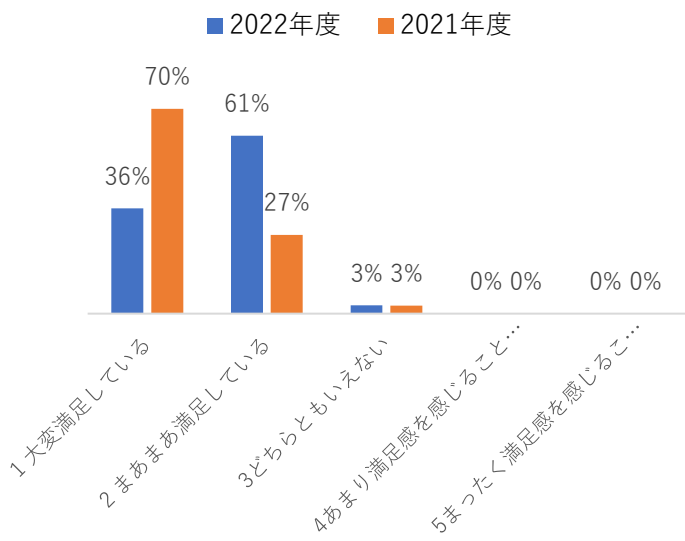
看護学部



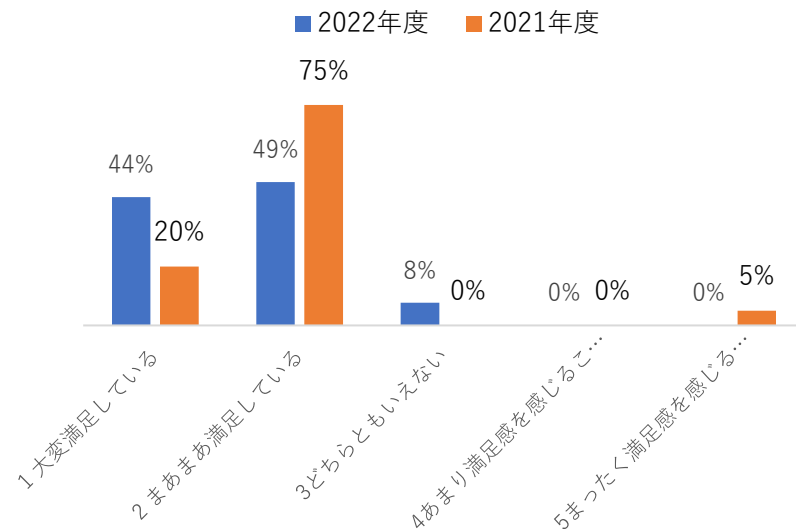
理学療法専攻



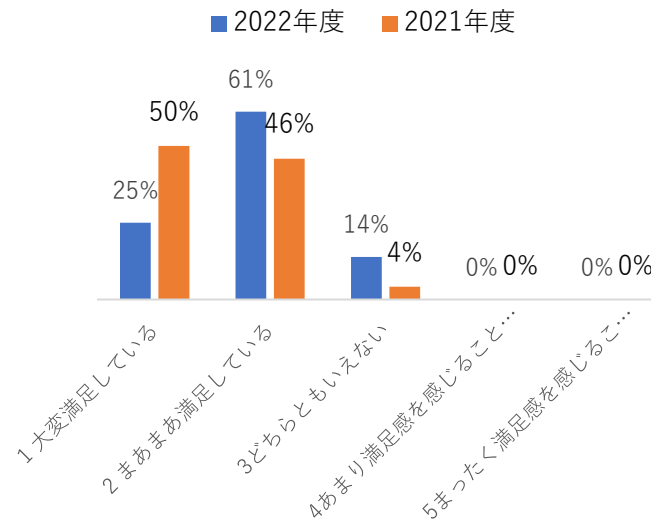
作業療法専攻



臨床検査学専攻



臨床工学専攻



●本学入学時の気持ちとして「大変満足している」の回答が看護学部、作業療法専攻、臨床工学専攻で**昨年の半分程度の割合**になっている。自由記述欄において「第2志望専攻での合格のため」と記載している新入生を複数確認できた。このような学生へのフォローと**第一志望の専攻を超えるようなその専攻の更なる魅力を説明**する必要がある。

●昨年と比較して「あまり満足感を感じることはない」「まったく満足感を感じていない」と回答した学生は減少しており、**現時点では1年次に退学者ができるような傾向はみられていない。**ただし医療福祉学科、理学療法専攻で1名ずつ不安要素のある学生がいるので、退学防止のため追跡とフォローが必要である。